

報告第 1 号

「夏休み小学生 50 円バス」の実施に伴う運賃の変更について

1 「夏休み小学生 50 円バス」の事業概要

(1) 事業の目的

夏休み期間中に東三河地区の路線バスのこども運賃を 1 乗車 50 円とすることにより、小学生の路線バスの利用を促進し路線バスの活性化を図ることを目的とする。

(2) 対象路線

① 路線バス

事業者名	適用範囲・適用条件等
豊鉄バス（株）	高速バスを除く全線
名鉄バス（株）	蒲郡市内の全線

② コミュニティバス

豊橋市（「地域生活」バス・タクシー）、豊川市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村のコミュニティバス

※コミュニティバスのうち、小学生の運賃が 50 円未満である場合は、この事業の実施に伴う運賃の変更はありません。

2 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会における報告の内容

(1) 報告対象路線

事業者名	路線名
豊鉄バス（株）	新豊線、豊川線及びレイクタウン線
東海交通（株）	・ 東部東山線（「地域生活」バス・タクシー（東部地区）） ・ 梅薮前芝線（「地域生活」バス・タクシー（前芝地区）） ・ 細谷二川系統、細谷イオン系統、小沢二川系統、 小沢イオン系統（「地域生活」バス・タクシー（南部地区）） ・ 川北線（「地域生活」バス・タクシー（川北地区））
豊鉄タクシー（株）	・ 北部石巻西川・賀茂線、北部下条・森岡線 （「地域生活」バス・タクシー（北部地区）） ・ 高根芦原系統、豊南大清水系統 （「地域生活」バス・タクシー（南部地区））

(2) 運賃を変更する期間

令和 8 年 7 月 18 日（土）～ 8 月 31 日（月）

(3) 運賃を変更する内容

対象路線のこども運賃を乗車区間にかかわらず、1 乗車 50 円とする。

ただし、この変更を適用した運賃の支払いは現金のみとし、障害者割引等その他の割引制度は適用しないものとする。

豊橋市都市交通計画 2016-2025 の総括

1. 評価方法

豊橋市都市交通計画 2016-2025 では、基本理念を定め、3つの基本方針及び基本方針に基づく4つの目標を掲げ、これまでに様々な取組を行ってきました。基本方針毎に指標の達成状況やこれまでの取組を整理し評価の総括をします。

【基本理念】

多様な交通手段を誰もが使い、
過度に自家用車に頼ることなく生活・交流ができる都市交通体系の構築

～基本理念の考え方～

豊橋市では、人が豊かで快適に生活し、誰でも自由に交流できるとともに、環境への負荷が小さく持続的な発展が可能な集約型都市構造を実現するため、自動車優先から人優先の社会への転換を促す、多様な交通手段を誰もが使い、過度に自家用車に頼らない都市交通体系を構築していきます。

基本方針1 安全・安心で快適に移動できる交通づくり

目標1 人にやさしく移動しやすい交通環境を実現する

評価指標1-1 自転車・公共交通の利用のしやすさにおいて満足とを感じる人の割合

評価指標1-2 歩行者・自転車に関わる交通事故件数

基本方針2 まちの魅力・活力を高める交通づくり

目標2-1 まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークを形成する

評価指標2-1 公共交通の1日当たり利用者数

目標2-2 まちなかの賑わいを創出する交通環境を実現する

評価指標2-2 中心市街地内の休日歩行者通行量

基本方針3 環境・健康を意識した交通づくり

目標3 環境負荷軽減、健康増進に寄与する交通行動の実践を促す

評価指標3 市街化区域内の歩行者・自転車の利用割合

2. 基本方針ごとの評価

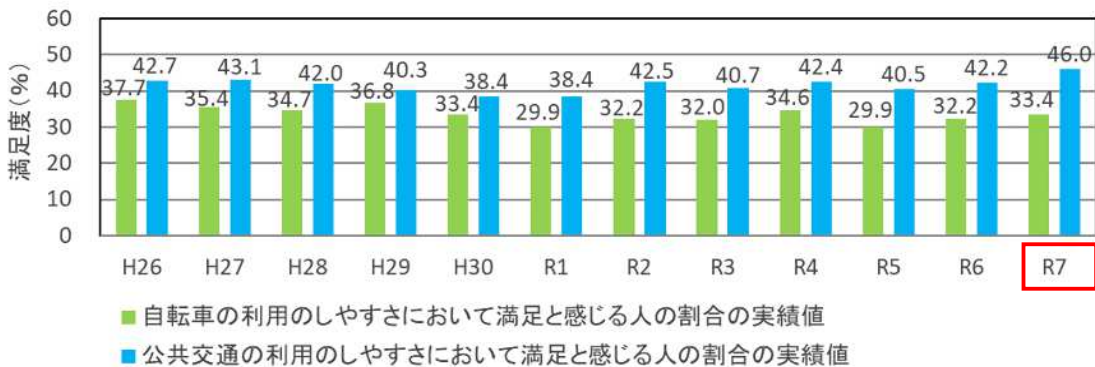
2.1 「基本方針1：安全・安心で快適に移動できる交通づくり」の評価

① 指標の達成状況

目標1：人にやさしく移動しやすい交通環境を実現する

評価指標1－1：自転車・公共交通の利用のしやすさにおいて満足と感じる人の割合

	H26実績	R1実績	R6実績	R7実績	R7目標	評価(R7時点)
自転車	37.7%	29.9%	32.2%	33.4%	40%	未達成
公共交通	42.7%	38.4%	42.2%	46.0%	45%	達成



- ・自転車の利用のしやすさは、概ね30%台で推移しており、現行計画期間のいずれの年も目標の達成に至りませんでした。公共交通の利用のしやすさにおいては、概ね40%台で推移していましたが、令和7年度では、目標を達成することができました。
- ・市民意識調査では、自転車や公共交通の利用者以外も対象となるため、調査年度により結果にばらつきがでいると考えられます。

評価指標1－2：歩行者・自転車に関わる交通事故件数

	H26実績	R1実績	R6実績	R7実績	R7目標	評価(R7時点)
歩行者・自転車に関わる交通事故件数	769件/年	592件/年	329件/年	292件/年	R1実績からの減少	達成



- ・事故件数は2024(令和6)年では前年より上昇したものの、2014(平成26)年以降減少傾向にあり、目標を達成することができました。
- ・自転車通行空間の整備や交通安全教室による啓発、また、道路交通法の罰則強化等により年々、交通事故が減少していると考えられます。

② 取組

市民が安心して利用できる交通手段としてサービス水準を維持・確保できるよう、バス運行に係る経費の一部を支援しました。
鉄軌道事業者は、安全・安心な運行を維持するために老朽化施設等の改修を行っており、その経費の一部を支援しました。
新型コロナウイルス感染症のまん延や燃料・物価高騰の影響を受ける中でも、市民生活を支える社会基盤として運行を継続する交通事業者に対して、支援しました。
路線バスやタクシーの運転士が不足していることから、キャリアデザイン研修やビジネスマナー講習、運転体験などを通して、運転士になるための就職支援を実施しました。
障害者や高齢者、子育て世帯をはじめ誰もが安全・安心で快適に移動できる環境を整えるため、ユニバーサルデザインタクシーの導入に係る経費の一部を支援しました。
鉄道、路面電車、路線バスの車両に子育て応援のステッカーを貼り、子連れ利用者が気軽に安心して利用できる公共交通環境を整備するとともに、周囲の利用者の意識醸成を図りました。
タクシー事業者は、高齢者等の付き添いサポート「そいタク」、子育て家庭の送迎サポート「子育てタクシー」など独自の取組を行いました。
利用環境の向上のため、鉄軌道事業者により渥美線の南栄駅、路面電車の前畑停留場のバリアフリー化を行っており、その経費の一部を支援しました。
コミュニティバスの運行維持や利便性向上のため、利用促進イベントの実施をはじめ、地域のニーズに合わせて豊川市への乗り入れなど、運行経路やダイヤを見直しました。また、湖西市や企業と連携し、企業シャトルバスを活用した移動手段を確保する社会実験を実施しました。
コミュニティバスにクレジットカード、電子マネーなどキャッシュレス決済を利用できる機器を導入し利用者の利便性向上を図りました。また、2025(令和7)年春ごろまでにバス事業者への交通系ＩＣカードシステム導入を目指し支援しました。
バスのリアルタイムな運行情報の提供による利便性と信頼性の向上を図るため、豊鉄バスによりバスロケーションシステム「バス Navi」が導入され、その経費の一部を支援しました。
高齢運転者による交通事故の防止と日常生活の移動手段の確保のために、市内在住 70 歳以上の運転免許自主返納者に交通助成券を交付しました。
自転車の活用を推進するため、自転車ネットワーク路線において安全で快適な自転車通行空間整備をこれまでに 55.6km の整備を行いました。
小学校から高齢者の各世代を対象とした交通安全教育指導者・指導員による安全教室や自転車活用促進リーフレットにより自転車利用のルール等について周知を行いました。

③ 評価の総括

公共交通において、厳しい経営状況の中でも安全・安心な運行サービスを行う交通事業者に対し、各種支援を行いながら運行サービスの維持・確保を行うことができました。また、駅や停留場のバリアフリー化やバスへのキャッシュレス決済機器の導入などの利便性の向上を図ることができました。一方、アンケート調査では、鉄軌道は「車両内の混雑」、「運行に関する情報の分かりやすさ」、バスでは「終発時間」、「運行間隔」などの満足度が低かったことから、これらの交通環境の充実や、利便性の向上が必要と考えられます。

自転車通行の環境や交通事故への対応として、自転車通行空間整備や安全教室を行うことができ、道路交通法の罰則強化や自動車の安全性能の向上などにより交通事故件数は減少傾向を続けており、**2025(令和7)年** ~~2023(令和5)年~~に過去最も少ない件数となりました。~~しかし、~~
~~2024(令和6)年については増加に転じており、この増加傾向が、今後も続くことが懸念されます。~~
~~また、~~**しかし、**アンケート調査では、~~により、~~「自宅近くの主な道路の自転車の走りやすさや安全面の取組」の重要度が高く、不満度の割合も高くなっていることから、引き続き道路空間の整備が必要と考えられます。

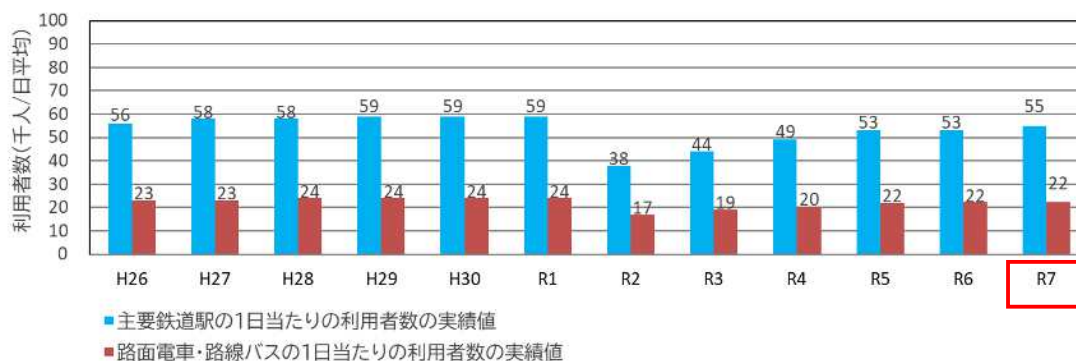
2.2 「基本方針2：まちの魅力・活力を高める交通づくり」の評価

① 指標の達成状況

目標2-1：まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークを形成する

評価指標2-1：公共交通の1日当たり利用者数

	H26実績	R1実績	R6実績	R7実績	R7目標	評価(R6時点)
主要鉄道駅	56.1千人/日平均	58.5千人/日平均	53.4千人/日平均	54.9千人/日平均	R1実績の維持	未達成
路面電車・路線バス	22.7千人/日平均	23.6千人/日平均	22.1千人/日平均	22.3千人/日平均	R1実績の維持	未達成

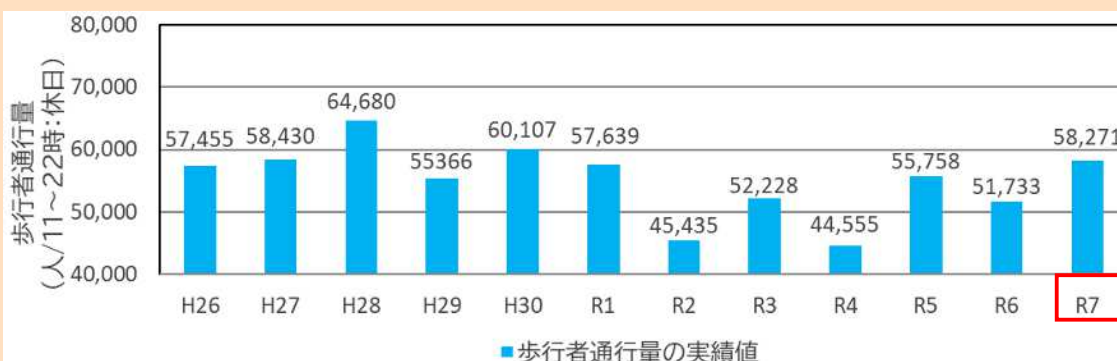


- ・2014(平成26)年度以降は微増していたものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、公共交通利用者が減少し、2019(令和元)年度実績まで回復しておらず、目標の達成に至りませんでした。
- ・コロナ禍を経て人々の生活様式が変化してきていることが考えられます。

目標2-2：まちなかの賑わいを創出する交通環境を実現する

評価指標2-2：中心市街地内の休日歩行者通行量

	H26実績	R1実績	R6実績	R7実績	R7目標	評価(R7時点)
歩行者通行量	57,455人/日	57,639人/日	51,733人/日	58,271人/日	63,000人/日	未達成



- ・2016(平成28)年度までは増加傾向であったものの、以降減少しています。特に、新型コロナウイルスの感染拡大以降は、まちなか図書館等のオープンや集客力の高いイベントの開催により、一時的な増加につながったと考えられますが、2019(令和元)年度実績まで回復しておらず、目標の達成に至りませんでした。

② 取組

まちなかのにぎわいの創出のため、路線バスのうち、西口線、豊橋技科大線、中浜大崎線において、2016(平成28)年度から2020(令和2)年度まで毎週金曜と土曜に豊橋駅発の最終便の後に1本増発し、利用者の利便性向上を図りました。
鉄軌道利用者の利便性の向上のため、鉄軌道事業者は駅・停留場の周辺にパーク&ライド駐車場やサイクル&ライド駐輪場の整備を行っており、その経費の一部を支援しました。
鉄軌道事業者は利用促進やまちなかのにぎわいの創出のため、納涼ビール電車(夏季)、豊橋まつり花電車(秋季)、おでんしゃ(冬季)など企画電車を運行しました。
中心市街地の回遊性向上や歩行者に配慮した道路構造への転換のため、萱町通りと水上ビル北側を対象としたストリートデザイン事業により道路整備を実施しました。また、沿道店舗や住民とともに公共空間の利活用に向けた取組を実施しました。
図書館で実施している読み聞かせ会「おはなしのへや」と路面電車が初めてコラボした「おはなしでん」を開催しました。子どもの頃から公共交通に親しんでもらい、普段、公共交通を利用しない方もまちなかへの移動に使ってみたいとなるようなきっかけを創出しました。
飲食店や娯楽施設を掲載した公共交通沿線エリアのマップを作成し、公共交通を利用するきっかけを創出しました。
渥美線、路面電車、路線バスでの「まちなかおでかけきっぷ」や「1日フリー乗車券」の利用による乗車料金の割引を実施する他、M a a Sアプリでのモバイル乗車券にも対応しました。

③ 評価の総括

駅・停留場周辺への駐車場・駐輪場の整備による利便性向上や、企画電車やイベント開催により、公共交通利用者や中心市街地内の歩行者交通量の増加に寄与しました。また、ストリートデザイン事業により魅力ある道路空間の整備を行うことができました。コロナ禍を経て公共交通利用者数や中心市街地の歩行者交通量は回復傾向にありますが、引き続き、まちなかで開催するイベントとの連携や歩行空間、駐輪環境等の交通環境の向上を図っていく必要があると考えられます。

2.3 「基本方針3：環境・健康を意識した交通づくり」の評価

① 指標の達成状況

目標3：環境負荷軽減、健康増進に寄与する交通行動の実践を促す

評価指標3：市街化区域内の歩行者・自転車の利用割合

	H26実績	R1実績	R6実績	R7実績	R7目標	評価(R7時点)
歩行者・自転車の利用割合	9.9%	11.3%	11.0%	10.2%	R1実績からの増加	未達成



・2014(平成26)年度以降増減を繰り返しており2020(令和2)年度、2021(令和3)年度で減少し2022(令和4)年度以降は増加傾向にありますがいずれの年も2019(令和元)年度実績を上回っておらず、目標の達成に至りませんでした。徒歩や自転車利用が多い若年層の外出が減少傾向にあることが影響していると考えられます。

② 取組

公共交通に関わる市、市民、事業者、公共交通事業者がそれぞれの責務や役割を担い公共交通を維持・活性化及び意識改革するために「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」を制定しました。

自転車や徒歩について、エコ通勤の推奨や健康マイレージ事業を実施しました。

持続可能な都市交通や移動方法について市民が考える機会となる「とよはしカーフリーデー」を開催しました。

渥美線のサイクルトレインについて、自転車利用者の利用促進を図るため、車両の側面や乗降口の床面にステッカーを貼り、経費の一部を支援しました。

徒歩、自転車、公共交通利用の利用啓発において、デジタルスタンプラリーなどの公共交通を利用したウォーキングイベントや沿線マップの作成、また、サイクルトレインを利用した自転車イベントなどを実施しました。

通勤時間帯において渋滞が激しい県境地域（豊橋市東部から静岡県湖西市にわたる事業所が集積する地域）における交通環境の改善を目指し、エコ通勤実施の意識啓発を行いました。

高齢運転者の日常生活の移動手段の確保のため、運転免許証を自主返納した方に電動アシスト自転車購入補助を行いました。

③ 評価の総括

イベント等により環境や健康に対する意識醸成を促してきました。また、自転車通行空間整備や電動アシスト自転車の購入補助などにより自転車利用の増加に寄与したと考えられます。一方で「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」の認知度が低いことから更なる周知とともに、過度に自家用車に頼らない意識改革を促し、環境負荷軽減や健康増進に寄与する交通行動につなげる必要があると考えられます。

 調査検討
 整備・導入・実施

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2016-2025に基づく令和7年度実績及び今後について(2／8)

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R7実施状況	令和7年度実績	今後の方向性
			前期	後期	◎：完了 ○：着手 －：未着手		
			H28 ～ R2	R3～R7			
【戦略1】公共交通幹線軸の強化	【取組み1－2】路面電車・渥美線の機能の維持・強化						
	14 15	軌道敷の改修 路面電車施設の更新			○	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省、豊橋市】 ◎交付金事業 ・一般部軌道敷改修 東田～競輪場前間上り線(50m) ・年度計画に基づく通常保守修繕	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省、豊橋市】 ◎交付金事業 ・単路部東田～競輪場前間上り線の改修を継続実施 ・毎年度計画に基づく通常保守修繕
	16	渥美線施設の更新			○	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省、愛知県、豊橋市】 ◎交付金事業 ・道床交換 老津～杉山間 ・木柱のコンクリート柱化 向ヶ丘～大清水間 ・踏切制御装置他更新 老津3・6号踏切 ・年度計画に基づく、その他通常保守点検修繕を実施	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省】 交付金事業 ・線路、電路、信号保安設備、車両等 ・レール更換、木柱のコンクリート柱化 ・機器装置類の延命措置 ・予防保全等の継続実施 ・年度計画に基づく、その他通常保守点検修繕を実施 【豊橋市、田原市】 ・新たな支援策について検討を行う。
	17	渥美線橋梁の耐震化の促進			○		【豊橋鉄道株式会社】 ・JR乗越橋耐震化工事は必須で検討が必要であるため、実施に向けての見通しを立てる。
	105	公共交通優先システムの導入(信号制御など)			○	【豊橋鉄道株式会社】 ・電車優先信号を導入している京福電気鉄道視察	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・令和8年度 豊橋市大学研究活動費補助金事業「路面電車と交通信号の連携施策に関する研究 ～安全で便利な東田電停の実現を目指して～」への協力
	18	適切な道路空間の確保に向けた沿線まちづくりの検討			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・定期的な意見交換会にて協議を継続	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・定期的な意見交換会にて協議を継続していく。
	109	市民の利用意識の醸成			○	【豊橋鉄道株式会社】 ・沿線で開催される催事等において、地域・主催者と連携し、公共交通の利用促進を図る ・ホームページ、公式SNSによる随時情報発信 ・市電おかえりきっぷ等の拡販による利用促進 ・出張出前講座等による公共交通利用への意識づけ 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・夏休み小学生50円バスの実施、とよはし公共交通フェスタ、電車バスお出かけ講座＆おはなしでんの実施 ・電車・バス沿線周遊マップの新規エリア(大清水)の作成	【豊橋鉄道株式会社】 ・沿線で開催される催事等において、地域・主催者と連携し、公共交通の利用促進を図る ・ホームページ、公式SNSなどにより随時情報発信 ・市電おかえりきっぷ、渥美線・市内線・豊鉄バス「豊橋まちなかおでかけきっぷ」などによる利用促進 ・出張出前講座等による公共交通利用への意識づけを行う 【豊鉄鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 ・電車・バス沿線周遊マップの新規エリアの作成。 【豊橋市】 ・「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」を周知し、市民が過度に自家用車に頼ることなく移動することの意識醸成を図っていく。 ・引き続き、各種イベント等を開催し、市民の利用意識の醸成を図っていく。
	19	路面電車の上下分離方式など行政の適切な関与の検討			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・定期的な意見交換会にて協議を行った。	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・定期的な意見交換会にて協議を行った。 ・路面電車の運行サービスの持続性を維持するため、「持続可能な路面電車検討会」を設立し、手法や制度などの調査・研究検討を開始する
【取組み1－3】公共交通の利便性向上							
20	公共交通利用者への支援 (通勤・通学定期、高齢者・子育て世帯など)			○	【豊橋市、交通事業者】 公共交通の助成 ・市民税非課税世帯の70歳以上の方を対象に、日常生活の支援として公共交通機関の利用料金の助成した。 ◎令和7年度助成内容 ・タクシー料金助成券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 ・元気バス購入助成5,000円分 対象者数：22,529名 引換者数：15,892名(内タクシー助成券11,868名、共通助成券3626名、元気バス398名) 【豊橋市】 ・交通事業者の取組・イベントや子連れでの路面電車利用の様子を、子育て支援課の運用するSNSで発信した。 ・「とよはし子育て応援電車・バス」ステッカー及びラッピングの実施。 ・障害者社会参加促進事業の実施 ・高齢者運転免許自主返納支援事業等の実施 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋まちなか活性化センターと連携した「市電おかえりきっぷ」を継続 ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」を発売 ・市電の日「市内線小学生運賃無料」、子育て応援企画「市内電車こども無料の日」 【愛知県タクシー協会】 ・安心して乗車できる公共交通機関として、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進 (車両導入数：東海81台、豊鉄9台、ヨシダ15台／2026年4月末現在) ・そいたく、子育てタクシーをPRL高齢者、妊産婦の移動+生活をサポートする(一部事業者) ・豊橋タクシー協会、保育課、サラーエナジー株式会社と病児保育送迎サービス実証実験を検討した	【豊橋市、交通事業者】 公共交通の助成 ・高齢者移動支援事業 引き続き市民税非課税世帯の70歳以上の方を対象に、日常生活の支援として公共交通機関の利用料金の以下の助成を行う予定 ◎令和8年度助成内容 ・タクシー料金助成券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 ・元気バス購入助成5,000円分 ・ 高齢者公共交通移動支援事業 市内在住の70歳以上の全ての高齢者を対象に、交通系ICカードに2,000円をチャージすることで物価高騰に対する支援を行いながら公共交通の利用促進を図る。 ・障害者社会参加促進事業 ・高齢者運転免許自主返納支援事業の継続。 ・「とよはし子育て応援電車・バス」ステッカー及びラッピングの実施。 【豊橋市】 ・引き続き、交通事業者の実施する取組・イベント等を、子育て支援課の運用するSNS・ブログでPRすることで、子育て世帯が公共交通機関を利用して外出する機会増加に寄与する。 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋まちなか活性化センターと連携した「市電おかえりきっぷ」を継続 ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売を継続 ・市電の日「市内線小学生運賃無料」、子育て応援企画「市内電車こども無料の日」の実施 ・今後の施策等の検討、計画 【愛知県タクシー協会】 ・安心して乗車できる公共交通機関として、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進 ・そいたく、子育てタクシーをPRL高齢者、妊産婦の移動+生活をサポートする(一部事業者) ・豊橋タクシー協会、保育課、サラーエナジー株式会社と病児保育送迎サービス実証実験の検討継続。	
21	利用しやすい運賃体系の導入(ゾーン制運賃、まちなか来訪者への支援、乗継割引など)			○	【豊鉄バス株式会社】 ・しおかぜバスと豊橋市民病院乗継割引きっぷを実施中。・1日フリー乗車券の発売。 ・令和8年1月8日より「のってみりん+ (プラス)」アプリとしてサービスを開始。東三河MaaS「いこまい」との連携。 ・令和7年3月にICを導入し、乗継割引の実施。	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・引き続き、しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引切符の実施。 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社】 ・1日フリー乗車券の発売。 【豊鉄バス株式会社】 ・ICによる乗継割引の継続。 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)の拡充。	

 調査・検討
 整備・導入・実施

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2016-2025に基づく令和7年度実績及び今後について(3/8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R7実施状況	令和7年度実績	今後の方向性	
		前期	後期	◎：完了 ○：着手 －：未着手			
		H28 ～ R2	R3～R7				
【戦略1】公共交通幹線軸の強化	【取組み1－3】公共交通の利便性向上						
	22	路線バスへのICカードの導入	――→	→	◎	【豊鉄バス株式会社】 ・導入済	【豊鉄バス株式会社】 ・ICカードの乗降データの分析を引き続き行う。 ・ICカードの利用率向上に努める。
	23	リアルタイム運行情報システムの導入	→		◎	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊橋市、コミュニティバス等地域運営団体】 ・ <u>路面電車運行情報システム「のってみりん」と路線バス運行情報システム「豊鉄バスNavi」を統合し、東三河公共交通走行位置情報サービス「のってみりん+（プラス）」を導入。また東三河MaaS「いこまい」との連携も実施。</u>	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊橋市、コミュニティバス等地域運営団体】 ・東三河公共交通走行位置情報サービス「のってみりん+」の更なる利便性の向上の検討
	24	利便性が高い公共交通の効果的な情報の周知	→	→	○	【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」（愛知県新モビリティサービス）事業展開 【豊橋鉄道株式会社】 ・ホームページ及び公式Instagram等によるイベント情報等を随時公開 ・路面電車運行情報システム「のってみりん」と路線バス運行情報システム「豊鉄バスNavi」を統合し、東三河公共交通走行位置情報サービス「のってみりん+」を導入 【豊鉄バス株式会社】 ・令和8年3月14日・15日 ICカードmanaca導入1周年記念 小学生運賃無料キャンペーン ＜市と協働によるもの＞ ・夏休み小学生50円バス ・令和7年9月28日とよはし公共交通フェスタ ・令和8年3月11日 電車バスお出かけ講座＆おはなしでん 【愛知県タクシー協会】 ・車内タブレット広告による、公共交通機関のPRと情報発信の強化（一部事業者で実施）	【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」（愛知県新モビリティサービス）事業展開 【豊橋鉄道株式会社】 ・ホームページ及び公式Instagram等によるイベント情報等を随時公開 ・東三河MaaS「いこまい」（愛知県新モビリティサービス）事業を展開 【豊鉄バス株式会社】 ・利用促進等を通じて情報発信、利用者増に繋げる。 【愛知県タクシー協会】 ・車内FreeWiFiによる利用者利便性の向上（一部事業者） 豊橋では観光需要がないため、観光整備の動向を確認しながら導入を検討中 ・新車内タブレット広告による、公共交通機関のPRと情報発信の強化（一部事業者で実施中・導入事業者増加予定）
	25	交通施設や情報等のトータルデザイン化	→	→	○		【豊橋市】 ・今後、令和4年度に策定した車体広告のデザインの手引きを含め相談があれば、手引き等の内容に沿ったものとなるよう誘導を図る。
	1002	MaaSなど新たなモビリティサービスの推進	――→	――→	○	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊橋市、コミュニティバス等地域運営団体】 ・路面電車運行情報システム「のってみりん」と路線バス運行情報システム「豊鉄バスNavi」を統合し、東三河公共交通走行位置情報サービス「のってみりん+（プラス）」を導入。また東三河MaaS「いこまい」との連携も実施。 【愛知県タクシー協会】 ・豊橋市内全タクシー会社でタクシー配車アプリ「GO」を導入した ※導入することで豊橋市内のタクシーを有効活用でき利便性向上を図ることができた	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊橋市、コミュニティバス等地域運営団体】 ・東三河MaaS「いこまい」を展開 ・東三河公共交通走行位置情報サービス「のってみりん+」を展開 【愛知県タクシー協会】 ・豊橋市内全社での配車アプリ「GO」のPRを行うことで、豊橋市内のタクシーを有効活用し、利用者の利便性の向上を図る ・配車アプリを活用した市内共通タクシークーポンの検討
【戦略2】地域拠点等における交通結節機能の強化	【取組み2－1】交通結節結節点へのアクセス性の向上						
	1	バス路線の維持、再編・見直し	→	→	○	【豊橋市】 ・幹線バス維持のため、「歩いて暮らせるまち区域」への居住の誘導として、「歩いて暮らせるまち区域定住促進事業費補助金」を交付。令和7年度は新規の認定を208件行った。 【豊鉄バス株式会社】 ・労働基準の改善や利用状況に応じ、レイクタウン線、伊良湖本支線において、適切な本数へと変更(減便)を行った。その結果、運転手のインターバルが増加し、適切な労働環境の確保に繋がった。 ・渋滞対策として、「桜丘中学・高校前」のバス停を正門へ移設した。 ・ <u>区画整理事業と連携した豊橋和田辻線の経路変更・ダイヤ改正を行った。</u> 【豊橋市、東三河の関係自治体】 ・ <u>東三河5市町村とバス事業者との連携協定により、路線バス事業者へ持続可能なバス運行への支援を行った。</u>	【豊橋市】 ・今後の具体的な検討状況などを踏まえ、必要に応じてまちづくりの方向性について検討する。 【豊鉄バス株式会社】 ・飯村岩崎線沿線の影岩～柳原団地南において、狭路区間に伴う経路変更を実施する。 ・ICカードの乗降データの分析を引き続き行う。 【豊橋市、東三河の関係自治体】 ・路線バス運行対策補助金により、路線バス事業者へ支援を行う。
	26	自転車ネットワークの整備推進	→	→	○	【国土交通省】 ・豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていきます。 【愛知県】 ・(主)豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L＝約0.2km)の工事を実施。 【豊橋市】 ・ <u>豊橋市自転車活用推進計画2021-2030の改訂に合わせ、自転車ネットワーク路線の見直しを行った。</u> ・市道花中町・柱一番町1号線、市道仁連木町・井原町18号線、市道井原町・東田町10号線、市道牛川通・飯村町1号線において、自転車通行空間確保工事を実施。 【豊橋警察署】 ・各道路管理者に対して、交通管理者の立場から必要な意見や助言、申し入れを行った。	【国土交通省】 ・豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていく。 【愛知県】 ・(主)豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L＝約0.2km)の工事を完了予定。 ・(一)東赤沢植田線の自転車通行空間の設計を実施予定。 【豊橋市】 ・市道三ノ輪町・飯村北46号線、市道伝馬町・岩崎町5号線において、自転車通行空間確保工事を実施予定。 ・引き続き国の社会資本整備総合交付金を活用し、自転車通行空間確保工事の進捗を図る。 【豊橋警察署】 ・今年度以降も交通管理者の立場から、道路管理者のネットワーク整備について、必要な意見や助言を行う。
	27	地域主体のコミュニティバス(「地域生活」バス・タクシー)の運行	→	→	○	【豊橋市】 ・既存路線の運行継続及び見直し。 ・柿の里バスのルート・ダイヤの変更。 ・ <u>「東部東山線やまびこ号」において豊橋信用金庫とネーミングライツ契約を締結した。</u> ・湖西市と連携し企業シャトルBaaSの実証実験を実施。	【豊橋市】 ・既存路線の運行継続及び見直し。 ・湖西市と連携し企業シャトルBaaSの実証実験を実施。
	【取組み2－2】乗換機能の強化						
28	円滑な乗換施設の整備(赤岩口電停、競輪場前電停など)	→	→	○	【愛知県タクシー協会】 ・待機車両数の確保 豊橋市の玄関でも有る駅での公共交通機関(タクシー)車両確保を協会全体で取り組む。(検討を継続)	【愛知県タクシー協会】 ・引き続き、待機車両数の確保について、協会全体で取り組む。(検討を継続) ・待機車両数の確保 豊橋市の玄関でも有る駅での公共交通機関(タクシー)車両確保を協会全体で取り組む。(検討を継続) ・南栄駅前・二川駅北口にあるタクシー待合施設の整備実施予定(一部事業者) ・駅前のタクシー乗場の確保検討と、市民病院や医療センター等のタクシー乗場のある施設の有効活用で、タクシーの利便性の向上を検討する。 【豊橋警察署】 ・安全な乗換施設の整備のため、今年度も引き続き東田電停に鳥状の停留所整備を強く要望する。	
29	P&R駐車場の整備推進	→	→	○	【豊橋鉄道株式会社】 ・月極め駐車場の一部を時間貸し駐車場に変更	【豊橋鉄道株式会社】 ・利用状況を注視していく。	
30	C&R駐輪場の整備推進	→	→	○		【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・関係機関と連携し、検討を行う。	
7	バス停施設の改善	→	→	○	【豊鉄バス株式会社】 ・停留所照明の取換え・・・中野町(上) ・上屋取換・躯体塗装・・・こども未来館・商工会議所(下) 豊川市役所前(上)免許センター前(上) ・テントシート貼替・躯体塗装・・・高見(上) 変電所前(上) 大池(上) 商業高校前(上) 飯村東(上) 忠興二丁目(上) 東脇口(上)	【豊鉄バス株式会社】 ・上屋等の修繕が必要なバス停を順次実施。	

調査・検討
 整備・導入・実施

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2016-2025に基づく令和7年度実績及び今後について(4／8)

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R7実施状況	令和7年度実績	今後の方向性
			前期 H28 ～ R2	後期 R3～R7			
【戦略2】 地域拠点等における交通結節機能の強化	13	駅・停留場施設の改善			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・定期的な意見交換会にて協議を継続。	【豊橋鉄道株式会社】 ・令和8年度以降の予定を検討、計画。
	31	分かりやすい交通情報の提供			○	【愛知県タクシー協会】 ・配車アプリ「GO」の導入により、乗換え時の利便性が向上した ・待機車両数の確保(乗車時の利便性の確保) 乗りたい時に待機車両が確保されている環境をつくるため協会全体で継続して検討を行った	【豊鉄バス株式会社】 ・豊橋駅構内「観光案内所」にて、バス時刻表の配布を継続実施していく。 【愛知県タクシー協会】 ・各社共通の配車アプリの活用と、乗りたい時に待機車両が確保されている環境が必要な場所を、確認しつつ市内全域でタクシーが必要な場所・時間帯等を検証したい
	1002	MaaSなど新たなモビリティサービスの推進			○	【愛知県タクシー協会】 ・車内Wi-FiとGPSシステムを組み合わせた、位置情報の共有を検討。 ・豊橋市内全タクシー会社でタクシー配車アプリ「GO」導入の検討する。導入することで豊橋市内のタクシーを有効活用でき利便性向上を図る。一部事業者で先行実施した。 【豊橋鉄道株式会社】 ・HP、公式SNS等による運行情報、沿線施設情報等の提供。 ・豊橋市と「のってみりん」に替わる運行情報提供システムの検討 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)実証事業を展開。	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊橋市、コミュニティバス等地域運営団体】 ・路面電車運行情報システム「のってみりん」と路線バス運行情報システム「豊鉄バスNavi」を統合し、東三河公共交通走行位置情報サービス「のってみりん+ (プラス)」を導入。また東三河MaaS「いこまい」との連携も実施。 【愛知県タクシー協会】 ・豊橋市内全タクシー会社でタクシー配車アプリ「GO」を導入した ※導入することで豊橋市内のタクシーを有効活用でき利便性向上を図ることができた
	【取組み2-3】交通結節点周辺のまちづくりとの連携						
	32	地域拠点整備と連携した交通施策の実施(南栄駅、高師駅周辺など)			○	【愛知県】 ・関係機関協議の実施。 【豊橋市】 ・都市計画課と共に、渥美線、国道259号、南栄伊古部線との交差方法を県と協議。	【愛知県】 ・鉄道事業者との調整を実施予定。 ・(都)南栄伊古部線の委託業務を実施予定。 【豊橋市】 ・都市計画課と共に、渥美線、国道259号、南栄伊古部線との交差方法を県と継続協議。
	33	乗換施設整備と連携した地域拠点整備(赤岩口電停周辺など)			○		【豊橋警察署】 ・実施主体者側からの相談や協議に対して、交通管理者として必要な意見や助言を行う。 【豊橋市】 ・都市計画マスタープランや都市交通計画に基づき、関係課と連携し計画推進を図る。
	34	道の駅整備と連携した交通施策の実施			○	【豊鉄バス株式会社】 ・令和7年3月に「道の駅」へのバス乗り入れの運行開始済み。	
【戦略3】 まちなか交通の魅力向上	【取組み3-1】路面電車の魅力向上						
	35	軌道緑化の整備			◎	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・維持管理作業を実施	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・維持管理作業を継続
	36	グレードの高い停留場の整備			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・電停の拡張について検討を行った。	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・引き続き、電停の拡張について検討を行う。
	18	適切な道路空間の確保に向けた沿線まちづくりの検討			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・定期的な意見交換会にて協議を行った。	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・定期的な意見交換会にて協議を継続していく。
	25	交通施設や情報等のトータルデザイン化			○		【豊橋市】 ・今後、令和4年度に策定した車体広告のデザインの手引きを含め相談があれば、手引き等の内容に沿ったものとなるよう誘導を図る。
	37	企画電車の運行(おでんしゃ、納涼ビール電車など)			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・市、有楽製菓株式会社の開催するバレンタインイベントに併せて企画電車「ブラックサンダーまみれ電車」を運行。 【豊橋鉄道株式会社】 ・「納涼ビール電車」運行6～9月 ・「おでんしゃ」運行4・5月、11～3月運行	【豊橋鉄道株式会社】 ・「納涼ビール電車」 ・「おでんしゃ」の運行 ・その他企画電車運行の検討

---➡ 調査・検討
---➡ 整備・導入・実施

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2016-2025に基づく令和7年度実績及び今後について(5／8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R7実施状況	令和7年度実績	今後の方向性
【戦略3】 まちなか交通の 魅力向上	38	レトロ電車など観光資源の開発			【豊橋鉄道株式会社】 ・7月に市内線開業100周年を迎え、各イベントを開催	【豊橋鉄道株式会社】 ・各種イベントの検討を行う。
	3001	「豊橋市ふるさと寄附金」を活用した体験型返礼品の実施				
	【取組み3-2】回遊性・アクセス性の向上					
	39	歩行者を優先したデザイン性の高い道路整備			【豊橋市】 ・萱町通り：萱町通みち・街づくり協議会と連携して、イベントや実証実験等を行い、歩道空間の利活用に向けた検討を行った。 ・駅前大通り：未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や潜在性を向上させるための取り組みを行った。	【愛知県、豊橋市】 ・道路法第17条第2項により管理主体を豊橋市とし、より良い整備を検討する必要がある。 【豊橋市】 ・萱町通り…引き続き協議会と連携して、イベントや実証実験等を行い、歩道空間の利活用に向けた検討を行う。 ・駅前大通り…引き続き未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や潜在性を向上させるための取り組みを行う。
	131	分かりやすい交通情報の提供			【豊橋鉄道株式会社】 ・東三河MaaS「いこまい」・東三河公共交通走行位置情報サービス「のってみりん+」等の情報展開 【愛知県タクシー協会】 ・GOアプリを経由した場合、全てのタクシーで英語対応が可能となった。	【豊橋鉄道株式会社】 ・東三河MaaS「いこまい」、東三河公共交通走行位置情報サービス「のってみりん+」等の情報展開 【豊鉄バス株式会社】 ・豊橋駅構内「観光案内所」にて、バス時刻表の配布を継続実施していく。 【愛知県タクシー協会】 ・国土交通省推奨の「多言語案内用タブレット端末」導入検討(一部事業者)
	3002	居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりと連携した施策の実施			【豊橋市】 ・萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や潜在性を向上させるための取組みを行った。 ・歩行空間の快適性向上などの具体的な取り組みにつなげるため、3D都市モデルを活用して実施した熱環境解析の結果から、暑熱対策として打ち水効果の検証を行った。	【愛知県タクシー協会】 ・中心市街地内での、乗降場所の確保/拡大の要望を継続(広小路、駅前大通など) 【豊橋市】 ・引き続き萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や潜在性を向上させるための取組みを行う。
	2	運行時間帯の拡大				【豊鉄バス株式会社】 ・最終便の延長については、要因状況や需要を鑑みて判断していく。 ・ICカードの乗降データの分析を引き続き行う。
	3	運行本数の増便			【豊鉄バス株式会社】 ・区画整理事業と連携した豊橋和田辻線の経路変更・ダイヤ改正を行った。	【豊鉄バス株式会社】 ・運行本数の増便については、要因状況や需要を鑑みて判断していく。 ・ICカードの乗降データの分析を引き続き行う。
	40	駐輪場の利便性・快適性の向上 (短時間駐輪場の整備、地下駐輪場の改修など)			【豊橋市】 ・東口地下エリアサイクルコンベア修繕 ・東口地下エリア地下2階防火扉修繕 ・大型自転車駐車スペース設置	【豊橋市】 ・施設の長寿命化計画に基づき、設備の修繕を行っていく。
	26	自転車ネットワークの整備推進			【国土交通省】 ・豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていきます。 【愛知県】 ・(主)豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L=約0.2km)の工事を実施。 【豊橋市】 ・豊橋市自転車活用推進計画2021-2030の改訂に合わせ、自転車ネットワーク路線の見直しを行った。 ・市道花中町・柱一番町1号線、市道仁連木町・井原町18号線、市道井原町・東田町10号線、市道牛川通・飯村町1号線において、自転車通行空間確保工事を実施。 【豊橋警察署】 ・各道路管理者に対して、交通管理者の立場から必要な意見や助言、申し入れを行った。	【国土交通省】 ・豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていく。 【愛知県】 ・(主)豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L=約0.2km)の工事を完了予定。 ・(一)東赤沢植田線の自転車通行空間の設計を実施予定。 【豊橋市】 ・市道三ノ輪町・飯村北46号線、市道伝馬町・岩崎町5号線において、自転車通行空間確保工事を実施予定。 ・引き続き国の社会資本整備総合交付金を活用し、自転車通行空間確保工事の進捗を図る。 【豊橋警察署】 ・今年度以降も交通管理者の立場から、道路管理者のネットワーク整備について、必要な意見や助言を行う。
	41	サイクルトレイン、サイクルバスの導入・拡充			【豊橋鉄道株式会社】 ・渥美線サイクルトレイン実施(令和7年度実績：7,849台 R6:5,929,R5:5,656,R4:5,195) 【豊鉄バス株式会社】 ・令和7年9月～田原市内の伊良湖本・支線において、車外搭載によるサイクルバスの実証運行を開始。尚、バス車内へ持ち込みの自転車は専用の袋に入れ折りたたみ、自転車を持ち込みの手回り品として、従来通りの取り扱いで対応。	【豊橋鉄道株式会社】 ・渥美線サイクルトレインの実施を継続 【豊鉄バス株式会社】 ・豊橋駅バスセンターのロータリーが狭く、乗降場所・車両留置場所の安全確保が担保できない。サイクルラックバスを限定すると運用が難しく、狭路区間等の様々な路線を運行するので安全確保が難しい状況。再度、状況等を鑑み検討。
	42	都市間鉄道の利便性向上				【豊橋市】 引き続き三河地域新幹線駅利用促進期成同盟会の活動を通じて豊橋駅を中心に東三河地域への人の来訪を促す以下の取り組みを行う。 ・JR東海への要望活動。 ・新幹線駅利用促進啓発用品の製作及び掲示。 ・有識者による基調講演(総会)
	43	豊橋駅東エリアと西エリアを結ぶ通行環境の向上			【愛知県】 ・(一)大山豊橋停車場線(城海津跨線橋南側歩道橋)の撤去に向けてJR東海と協議を実施。	【愛知県】 ・(一)大山豊橋停車場線(城海津跨線橋南側歩道橋)の撤去に向けてJR東海と協定締結に向けて調整中。
	20	公共交通利用者への支援(通勤・通学定期、高齢者・子育て世帯など)			【豊橋市、交通事業者】 公共交通の助成 ・市民税非課税世帯の70歳以上の方を対象に、日常生活の支援として公共交通機関の利用料金の助成した。 ◎令和7年度助成内容 ・タクシー料金助成券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 ・元気バス購入助成5,000円分 対象者数：22,529名 引換者数：15,892名(内タクシー助成券11,868名、共通助成券3626名、元気バス398名) 【豊橋市】 ・交通事業者の取組・イベントや子連れでの路面電車利用の様子を、子育て支援課の運用するSNSで発信した。 ・「とよはし子育て応援電車・バス」ステッカー及びラッピングの実施。 ・障害者社会参加促進事業の実施 ・高齢者運転免許自主返納支援事業等の実施 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋まちなか活性化センターと連携した「市電おかえりきっぷ」を継続 ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」を発売 ・市電の日「市内線小学生運賃無料」、子育て応援企画「市内電車こども無料の日」 【愛知県タクシー協会】 ・安心して乗車できる公共交通機関として、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進 (車両導入数：東海81台、豊鉄9台、ヨシダ15台／2026年4月末現在) ・そいたく、子育てタクシーをPRし高齢者、妊産婦の移動+生活をサポートする(一部事業者) ・豊橋タクシー協会、保育課、ソーラエナジー株式会社と病児保育送迎サービス実証実験を検討した	【豊橋市、交通事業者】 公共交通の助成 ・高齢者移動支援事業 引き続き市民税非課税世帯の70歳以上の方を対象に、日常生活の支援として公共交通機関の利用料金の以下の助成を行う予定 ◎令和8年度助成内容 ・タクシー料金助成券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 ・元気バス購入助成5,000円分 ・高齢者公共交通移動支援事業 市内在住の70歳以上の全ての高齢者を対象に、交通系ICカードに2,000円をチャージすることで物価高騰に対する支援を行いながら公共交通の利用促進を図る。 ・障害者社会参加促進事業 ・高齢者運転免許自主返納支援事業の継続。 ・「とよはし子育て応援電車・バス」ステッカー及びラッピングの実施。 【豊橋市】 ・引き続き、交通事業者の実施する取組・イベント等を、子育て支援課の運用するSNS・ブログでPRすることで、子育て世帯が公共交通機関を利用して外出する機会増加に寄与する。 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋まちなか活性化センターと連携した「市電おかえりきっぷ」を継続 ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売を継続 ・市電の日「市内線小学生運賃無料」、子育て応援企画「市内電車こども無料の日」の実施 ・今後の施策等の検討、計画 【愛知県タクシー協会】 ・安心して乗車できる公共交通機関として、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進 ・そいたく、子育てタクシーをPRし高齢者、妊産婦の移動+生活をサポートする(一部事業者) ・豊橋タクシー協会、保育課、ソーラエナジー株式会社と病児保育送迎サービス実証実験の検討継続。
	21	利用しやすい運賃体系の導入(ゾーン制運賃、まちなか来訪者への支援、乗継割引など)			【豊鉄バス株式会社】 ・しおかぜバスと豊橋市民病院乗継割引きっぷを実施中。・1日フリー乗車券の発売。 ・令和8年1月8日より「のってみりん+ (プラス)」アプリとしてサービスを開始。東三河MaaS「いこまい」との連携。 ・令和7年3月にICを導入し、乗継割引の実施。	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・引き続き、しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引切符の実施。 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社】 ・1日フリー乗車券の発売。 【豊鉄バス株式会社】 ・ICによる乗継割引の継続。 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)の拡充。

調査・検討
 整備・導入・実施

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R7実施状況	令和7年度実績	今後の方向性
			前期	後期			
			H28 ～ R2	R3～R7			
【戦略3】 まちなか交通の 魅力向上	【取組み3－3】まちなかのまちづくりとの連携						
	44	駅前大通二丁目地区市街地再開発事業と連携した交通施策の実施			○	【豊橋市】 ・萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や潜在性を向上させるための取組みを行った。	【豊橋市】 ・引き続き萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や滞在性を向上させるための取組を行う。
	45	豊橋駅西口駅前地区の整備に向けた検討			○	【豊橋市】 ・豊橋駅西口での権利者ヒアリングを行った。	【豊橋市】 ・豊橋駅西口駅前広場の再整備可能性調査を実施する。
	3002	居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりと連携した施策の実施			○	【豊橋市】 ・萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や潜在性を向上させるための取組みを行った。 ・歩行空間の快適性向上などの具体的な取り組みにつなげるため、3D都市モデルを活用して実施した熱環境解析の結果から、暑熱対策として打ち水効果の検証を行った。	【愛知県タクシー協会】 ・中心市街地内での、乗降場所の確保/拡大の要望を継続(広小路、駅前大通など) 【豊橋市】 ・引き続き萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や潜在性を向上させるための取組を行う。
【戦略4】自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換	【取組み4－1】交通手段を賢く使い分ける意識変革						
	46	「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」の制定・周知			○	【豊橋市】 ・市電の日、公共交通フェスタで条例を周知した。	【豊橋市】 ・各種イベント等の開催に合わせ、条例を周知していく。
	47	徒歩、自転車、公共交通の利用啓発の推進 (イベント開催、マップ作成など)			○	【豊橋市】 ・とよはしトレジャーサイクリング2026を実施。 【豊橋鉄道株式会社】 ・実施主体と連携し、沿線ハイキングをはじめ、各種行催事等を実施 ・渥美線・市内線ガイドブックのリニューアル ・市内線開業100周年事業各イベント、第1回豊鉄フェスタの開催 ・沿線各所における、シェアサイクル事業の推進 【豊鉄バス株式会社】 ・令和8年3月14日・15日 ICカードmanaca導入1周年記念 小学生運賃無料キャンペーン 【豊橋市、豊鉄バス株式会社】 ・夏休み小学生50円バス、電車バスお出かけ講座 & おはなしでん 【豊橋市、豊鉄バス株式会社】 ・とよはし公共交通フェスタ 【愛知県タクシー協会】 2025年9月28日「とよはし公共交通フェスタ」に参加しタクシーのPRを行った 今年はコミュニティバス、GOアプリ、子育てタクシーのPRを行った 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 ・電車・バス沿線周遊マップの新規エリア(大清水)の作成	【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋市、国、愛知県、公共交通事業各社、市民・企業等の計画に沿う ・実施主体と連携し、沿線ハイキングをはじめ、各種行催事等を実施予定 ・渥美線・市内線ガイドブックのリニューアル ・市内線開業100周年事業イベントの検討、計画、実施 ・沿線各所における、シェアサイクル事業の推進 ・今後の検討 【豊鉄バス株式会社】 ・利用促進等を通じて情報発信、利用者増に繋げる。 【愛知県タクシー協会】 ・各種イベントに交通事業者として参加し、公共交通の安全性と新たな利用方法(そいたく、子育てタクシー)やサービスなど提案・PRする 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 ・電車・バス沿線周遊マップの新規エリアの作成。 【豊橋市】 ・高齢者公共交通移動支援事業として、交通系ICカードを活用した支援を行う。
	48	エコ通勤の推進			○	【豊橋市】 ・市役所職員にT-EMS(豊橋エコマネジメントシステム)を通じてエコ通勤の実施を呼びかけ。	【豊橋市】 ・引き続き、市役所職員にT-EMS(豊橋エコマネジメントシステム)を通じてエコ通勤の実施を呼びかけ。
	49	健康マイレージ事業の実施			○	【豊橋市】 ・スマートフォンアプリ「あいち健康プラス」を活用し、まちなか歩行者天国等と連携したウォーキングイベントを開催した(参加者数 1,251人)。 ・携帯ショップ運営企業と連携し、スマホ講座とウォーキングを組み合わせたイベントを開催した(参加者数 19人)。 ・住友生命保険相互会社と連携し、「Vitalityとよはしワーク」を開催した(参加者数 247人)。「あいち健康プラス」を併用することで、健康マイレージ事業の参加者を増加させることに繋がった。 ・とよはし健康宣言応援メニューに「健康マイレージへの参加」を提供し、健康経営に取り組む企業の健康マイレージ参加に繋げた。また、企業対抗で歩数を競う「企業対抗チャレンジマッチ」を開催した(参加数 42社 111チーム 1,046人)。	【豊橋市】 ・ウォーキングイベント等を引き続き実施し、健康マイレージ及びアプリの周知を行う。 ・健康経営に取り組む事業者の健康マイレージ参加、民間企業との健康づくりの協定に基づいた周知等を継続して実施する。
	50	公共交通を活用した観光の推進			○	【愛知県タクシー協会】 ・豊橋市及びコンベンション協会との運動を積極的に強化協力に努める。(1企業や協会での実現は不可能) ・観光整備の動向を確認しながらサービス・機器導入を検討 【豊橋市及びコンベンション協会と情報交換を行い、観光整備の動向を確認しながらサービス・機器導入を検討 ・市内での大規模イベントも観光と捉え、タクシーでの輸送が必要な場合、行政を含め準備段階からタクシー乗場等の検討を行う 【豊橋市】 ・豊橋駅観光案内所の運営 【豊橋市】 ・豊橋駅観光案内所の運営継続。 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊鉄バスツアー「奥三河再発見」の企画、実施を継続。	【愛知県タクシー協会】 ・豊橋市及びコンベンション協会との運動を積極的に強化協力に努める。(1企業や協会での実現は不可能) ・観光整備の動向を確認しながらサービス・機器導入を検討 【豊橋市及びコンベンション協会と情報交換を行い、観光整備の動向を確認しながらサービス・機器導入を検討 ・市内での大規模イベントも観光と捉え、タクシーでの輸送が必要な場合、行政を含め準備段階からタクシー乗場等の検討を行う 【豊橋市】 ・豊橋駅観光案内所の運営継続。 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊鉄バスツアー「奥三河再発見」の企画、実施を継続。
	51	運転免許自主返納者への支援(運転経歴証明書の交付など)			○	【豊橋市】 ・令和元年11月より、運転免許証自主返納支援事業を開始し、令和7年度についても引き続き本事業を実施した。(市内在住の70歳以上を対象) 【支援内容】 ◎交通助成券の交付(次の中から一つを選択) ・タクシー券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通券5,000円分 ・元気バス5,000円分 ◎実績 ・タクシー券:728件 ・交通助成券:273件 ・元気バス:21件 【豊橋警察署】 ・あらゆる機会を通じて、運転免許証の自主返納について理解と協力を求めた。	【豊橋市】 ・令和8年度についても引き続き本事業を実施する。(市内在住の70歳以上を対象) 【支援内容】 交通助成券の交付(次の中から一つを選択) ・タクシー券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通券5,000円分 ・元気バス5,000円分 【豊橋警察署】 ・引き続き運転免許証の自主返納事業を推進する。
	4001	新しい生活様式に対応した公共交通の利用啓発の推進			○	【豊橋鉄道株式会社】 ・新型コロナウイルス感染症(COVID－19)が5類感染症へ変更され、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が廃止されたが、渥美線・市内線車両において、部分的な窓ガラス開放による換気を実施	【愛知県タクシー協会】 ・新たなタクシーの活用方法・サービスを提案・PRする。 【豊橋鉄道株式会社】 ・引き続き安心安全、安定輸送完遂のために必要な各施策を遂行。

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2016-2025に基づく令和7年度実績及び今後について(7/8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R7実施状況	令和7年度実績	今後の方向性	
		前期	後期	◎：完了 ○：着手 －：未着手			
		H28 ～ R2	R3～R7				
【戦略4】自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換	【取組み4－2】多様な交通手段が共存できる道路空間の整備						
	52	市街地の渋滞解消につながる幹線道路の整備(国道259号バイパスの4車線化、東三河環状線の整備など)			○	【愛知県】 ・(国)259号(植田拡幅)について、大崎西IC交差点以北における工事を実施。 ・(主)東三河環状線(石巻本町)について、用地買収及び埋蔵文化財の調査を実施。 ・(都)小松原街道線は用地買収、工事を実施。 【豊橋市】 ・都市計画道路整備プログラムに基づき整備を進めた。 ・(都)大岩寺沢線の4期区間について、道路改良工事を完了し供用開始した。 ・(都)一色高洲線の2期区間について、物件調査、土地評価を実施した。 ・(都)山田三弥線について、物件調査を実施した。	【国土交通省】 ・引き続き、野依IC～大崎IC間において、調査設計、橋梁上部工及び改良工を行う。 【愛知県】 ・(国)259号(植田拡幅)について、大崎西IC交差点以北における工事を完了予定。 ・(主)東三河環状線(石巻本町)について、用地買収及び工事を実施予定。 ・(都)小松原街道線は用地買収を実施予定。 【豊橋市】 ・＜都市計画道路＞ ・(都)一色高洲線の2期区間について、物件調査を引き続き実施。 ・(都)東松山大岩線について、概略設計を実施予定。
	53	生活道路の安全対策(ゾーン30の指定、歩道設置など)			○	【豊橋市】 ・豊橋市交通安全プログラム(改訂版)に基づき通学路点検を実施。 ・市道石巻西川町・石巻中山町1号線の歩道設置工事を実施。 ・速度抑制のため一部市道においてセンターライン抹消や外郭線の新設による狭さくなどの安全対策を実施した。 【豊橋警察署】 ・道路管理者と連携して、地域の要望等に基づいて、生活道路に対する安全対策を検討、実施した。	【豊橋市】 ・豊橋市交通安全プログラム(改訂版)に基づき通学路点検を実施予定。 ・市道石巻西川町・石巻中山町1号線歩道設置のための用地買収を予定。 ・事業の実施にあたっては、国の社会資本整備総合交付金等を活用し、事業促進を図る。 【豊橋警察署】 ・令和8年9月からの生活道路の法定速度引き下げについての広報を実施するとともに、今後も道路管理者と円形して生活道路の安全対策を推進する。 【国土交通省】 ・ゾーン30プラスの登録に向け検討を進めるエリアについて、ETC2.0プローブデータを用いた分析等、必要な技術支援を行っていきます。
	39	歩行者を優先したデザイン性の高い道路整備			○	【豊橋市】 ・萱町通り:萱町通みち・街づくり協議会と連携して、イベントや実証実験等を行い、歩道空間の利活用に向けた検討を行った。 ・駅前大通り:未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や潜在性を向上させるための取り組みを行った。	【愛知県、豊橋市】 ・道路法第17条第2項により管理主体を豊橋市とし、より良い整備を検討する必要がある。 【豊橋市】 ・萱町通り…引き続き協議会と連携して、イベントや実証実験等を行い、歩道空間の利活用に向けた検討を行う。 ・駅前大通り…引き続き未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や潜在性を向上させるための取り組みを行う。
	26	自転車ネットワークの整備推進			○	【国土交通省】 ・豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていきます。 【愛知県】 ・(主)豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L＝約0.2km)の工事を実施。 【豊橋市】 ・豊橋市自転車活用推進計画2021-2030の改訂に合わせ、自転車ネットワーク路線の見直しを行った。 ・市道花中町・柱一番町1号線、市道仁連木町・井原町18号線、市道井原町・東田町10号線、市道牛川通・飯村町1号線において、自転車通行空間確保工事を実施。 【豊橋警察署】 ・各道路管理者に対して、交通管理者の立場から必要な意見や助言、申し入れを行った。	【国土交通省】 ・豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていく。 【愛知県】 ・(主)豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L＝約0.2km)の工事を完了予定。 ・(一)東赤沢植田線の自転車通行空間の設計を実施予定。 【豊橋市】 ・市道三ノ輪町・飯村北46号線、市道伝馬町・岩崎町5号線において、自転車通行空間確保工事を実施予定。 ・引き続き国の社会資本整備総合交付金を活用し、自転車通行空間確保工事の進捗を図る。 【豊橋警察署】 ・今年度以降も交通管理者の立場から、道路管理者のネットワーク整備について、必要な意見や助言を行う。
	【取組み4－3】自転車活用の推進						
	26	自転車ネットワークの整備推進			○	【国土交通省】 ・豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていきます。 【愛知県】 ・(主)豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L＝約0.2km)の工事を実施。 【豊橋市】 ・豊橋市自転車活用推進計画2021-2030の改訂に合わせ、自転車ネットワーク路線の見直しを行った。 ・市道花中町・柱一番町1号線、市道仁連木町・井原町18号線、市道井原町・東田町10号線、市道牛川通・飯村町1号線において、自転車通行空間確保工事を実施。 【豊橋警察署】 ・各道路管理者に対して、交通管理者の立場から必要な意見や助言、申し入れを行った。	【国土交通省】 ・豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていく。 【愛知県】 ・(主)豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L＝約0.2km)の工事を完了予定。 ・(一)東赤沢植田線の自転車通行空間の設計を実施予定。 【豊橋市】 ・市道三ノ輪町・飯村北46号線、市道伝馬町・岩崎町5号線において、自転車通行空間確保工事を実施予定。 ・引き続き国の社会資本整備総合交付金を活用し、自転車通行空間確保工事の進捗を図る。 【豊橋警察署】 ・今年度以降も交通管理者の立場から、道路管理者のネットワーク整備について、必要な意見や助言を行う。
	40	駐輪場の利便性・快適性の向上(短時間駐輪場の整備、地下駐輪場の改修など)			○	【豊橋市】 ・民間再開発事業を促進することで、施設用駐輪場の整備を進めた。	【豊橋市】 ・引き続き民間再開発事業を促進し、施設用駐輪場の整備を進める。
	30	C&R駐輪場の整備推進			○		【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・関係機関と連携し、整備を進める。
	34	道の駅整備と連携した交通施策の実施			○	【豊橋市】 ・サイクルビットを整備済み。	【豊橋市】 ・引き続き、自転車で来訪しやすい環境を整えていく。
54	自転車・ヘルメットの貸付及び購入補助			○	【豊橋市】 ・ヘルメット購入補助 自転車ヘルメットの着用を促すため、引き続き、ヘルメット購入補助を行った。	【豊橋市】 ・ヘルメット購入補助 自転車ヘルメットの着用を促すため、引き続き、ヘルメット購入補助を行う。	

---➡ 調査・検討
➡ 整備・導入・実施

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2016-2025に基づく令和7年度実績及び今後について(8／8)

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R7実施状況	令和7年度実績	今後の方向性
			前期	後期			
			H28 ～ R2	R3～R7			
					◎：完了 ○：着手 －：未着手		
【戦略4】自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換	【取組み4－3】自転車活用の推進						
	55	自転車利用のメリットの教育			○	【豊橋市】 ・とよはし健康マガジン(市から事業所への健康づくりに関する情報提供)により、自転車活用のメリットについて周知を行った。実施回数 4回 送付先 とよはし健康宣言事業所 202社 職員向けにはT-EMSマニュアルにおいて、エコ通勤を推進している。	【豊橋市】 ・引き続き市職員を対象に、T-EMSを通じてエコ通勤の推進を図る。 →第6次豊橋市エコアクションプラン(地球温暖化対策の推進に関する法律による策定義務)において自動車の利用の自粛や自転車利用の促進を図っており、これを基にT-EMSを通じて推進しているが、通勤方法の選択は個人の生活環境等に起因する部分が大きく、誰もがエコ通勤に取組めるものではないことから、T-EMSによる管理運営は推進よりも実績の把握に留まっているのが現状。 ・健康マガジンによる周知を継続して実施する。 年4回 発行予定
	56	対象・課題に応じた安全教育の実施			○	【豊橋市】 ・交通安全教室の実施 ◎令和7年度に実施した「自転車」の内容で取り扱った交通安全教室 【参考】 小学校(中、高学年) 89回 5,486人 中学校 11回 1,851人 高等学校等 4回 656人 ・自転車教室の中で自転車の整備・点検について、自分でできる日常の点検、自転車店などでの定期的な点検の必要性を周知した ・豊橋警察署より自転車安全利用モデル校に委嘱された豊丘高等学校と連携して、生徒も参加して自転車利用者等に対する街頭啓発を行った。 【豊橋警察署】 ・各種学校だけでなく、自治会や事業者に対し、市と連携して安全教育を実施した。	【豊橋市】 ・引き続き、小中学校、高校のほか、老人クラブ等への交通安全教育を実施するとともに、「豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例」の更なる周知を図る。また、自転車安全利用モデル校と連携して自転車利用者等に対する啓発活動を行っていく。 【豊橋警察署】 ・今後も市等と連携し、裾野を広げたきめ細かい交通安全教育を推進する。
	4002	自転車情報の収集・提供			○	【豊橋市】 ・自転車の通行ルール及び通行空間に関するチラシの配布。 ・デジタルサイクリングマップ配信。	【豊橋市】 ・自転車の通行ルール及び通行空間に関するチラシの継続配布。 ・デジタルサイクリングマップの配信継続。 ・引き続き、高校生(新入生)を対象に自転車の安全利用啓発をする。
	4003	健康を切り口とした自転車活用の推進			○	【豊橋市】 ・健康マガジン(企業向け機関誌)での周知 実施回数 4回 ・自転車通勤と健康効果の分析。	【豊橋市】 ・健康マガジン(企業向け機関誌)での周知。年4回 発行予定 ・自転車通勤と健康効果の分析。
	4004	新しい生活様式に対応した自転車活用の推進			○	【豊橋市】 ・健康マガジン(企業向け機関誌)での周知 実施回数 4回 ・自転車通勤と健康効果の分析。	【豊橋市】 ・健康マガジン(企業向け機関誌)での周知。年4回 発行予定 ・自転車活用の推進のため、企業等に対して自転車通勤の推進を行う。
	4005	災害に備えた自転車活用の推進			○	【豊橋市】 ・自転車活用推進トレジャーサイクル2026イベントの開催。	【豊橋市】 ・市民向け防災講座で、非常時の交通手段は各自で常に検討するよう啓発する。 ・自転車のイベント等を通じて自転車の災害時の活用について説明する。

---➡ 調査・検討
➡ 整備・導入・実施

基本方針	目標	施策番号	施策	枝番	施策に紐づく事業	令和8年度取組予定
安全・安心で快適に移動できる交通づくり	公共交通幹線軸の維持及び交通結節機能を充実する	1-1-1	公共交通幹線軸の維持	(1)	公共交通幹線軸の交通サービス水準の維持・充実	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・豊橋技術科学大学が行う交通系ICカードの乗降データ等の現況分析に協力する
				(2)	路面電車軌道敷の維持・改修	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省、豊橋市】 ◎交付金事業 ・単路部東田～競輪場前間上り線の改修を継続実施 ・毎年度計画に基づく通常保守修繕
				(3)	路面電車・渥美線施設の更新	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省】 ◎交付金事業 ・線路、電路、信号保安設備、車両等 ・レール更換、木柱のコンクリート柱化 ・機器装置類の延命措置 ・予防保全等の継続実施 ・年度計画に基づく、その他通常保守点検修繕を実施 【豊橋鉄道株式会社、豊橋市、田原市】 ・老朽化施設の健全化に向けて、施設更新計画作成などを行いながら、新たな支援の方法の検討を行う
				(4)	渥美線施設の耐震化	【豊橋鉄道株式会社】 ・JR乗越橋耐震化工事について、実施に向けての見直し検討を行う
		1-1-2	交通結節機能の強化	(1)	円滑な乗換施設の整備	【豊鉄バス株式会社】 ・サイネージの老朽化状況を考慮し、必要に応じて更新や修繕を検討する 【愛知県タクシー協会】 ・各社共通の配車アプリの活用と、まちづくりに合わせたアプリ専用乗場の検討 ・需要に応じた待機場所・時間の検証 ・市民病院(交通結節点)や医療センター等(交通結節点外)のタクシー乗場のある施設におけるタクシー利便性の向上を検討 ・南栄駅前、二川駅前にあるタクシー待合施設の整備実施予定(一部事業者)
				(2)	パーク＆ライド駐車場、サイクル＆ライド駐輪場の整備	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・C＆R駐輪場の現地視察等を踏まえた整備検討を行う
	利便性の高い交通環境を実現する	1-2-1	利用しやすい環境の構築	(1)	待合環境の向上	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・豊橋技術科学大学と連携し、東田電停における路面電車と交通信号の連携施策に関する研究について協力を行う 【豊鉄バス株式会社】 ・上屋等の修繕が必要なバス停を順次実施 【豊橋警察署】 ・東田電停の安全な乗降環境の整備に向け、実施主体者側からの相談や協議に対して意見や助言を行う
				(2)	利用しやすい運賃制度の拡充	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社】 ・「市電おかえりきっぷ」への連携協力、「豊橋まちなかおでかけきっぷ」の継続、子育て応援企画「市内電車こども無料の日」の実施 【愛知県タクシー協会】 ・既存の利用者(高齢者、障がい者、妊産婦等)に対し、更に利用しやすい運賃制度やデジタルタクシーチケットについて行政と検討を行う 【豊橋市】 ・各種運賃制度や支援策について、関係部局と情報共有を図りながら、SNS等を活用した積極的な情報発信に努める
				(3)	タクシーの利便性向上	【愛知県タクシー協会】 ・中心市街地でのタクシー乗場の拡大や整備を関係部所と行う ・豊橋タクシー協会、保育課、ソーラエナジー株式会社と病児保育送迎サービス実証実験を検討中 ・そいたく、子育てタクシーをPRし、高齢者・妊産婦の移動+生活をサポートする(一部事業者) 【豊橋市】 ・タクシーの利便性向上に関する取組について、関係部局と情報共有を図りながら、SNS等を活用した積極的な情報発信に努める

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2026-2035事業一覧 (2 / 5)

基本方針	目標	施策番号	施策	枝番	施策に紐づく事業	令和8年度取組予定
安全・安心で快適に移動できる交通づくり	利便性の高い交通環境を実現する	1-2-2	交通DXの推進	(1)	MaaSの推進	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、東三河地域公共交通活性化推進協議会、コミュニティバス等地域運営団体】 ・「東三河MaaSいこまい」及び「のってみりん+（プラス）」の周知宣伝、インターフェース工夫、お出かけ情報・モデルコースの充実等に取り組む 【愛知県タクシー協会】 ・豊橋市内全社での配車アプリ「GO」を導入済み、継続してPRを行う
				(2)	自動運転技術の活用	【豊橋警察署】 ・自動運転バスの安全な道路空間の整備について、実施主体者側からの相談や協議に対し、意見や助言を行う
				(3)	ビッグデータの活用	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・豊橋技術科学大学が行う交通系ICカードの乗降データ等の現況分析に協力する 【愛知県タクシー協会】 ・行政と協力し、タクシー配車アプリの利用状況データの取得について検討
				(4)	キャッシュレス決済の普及促進	【豊橋鉄道株式会社】 ・国庫補助事業の観光振興事業費補助金を活用した渥美線新豊橋駅のICカード専用自動改札機導入に向けた設計製造に着手 【愛知県タクシー協会】 ・キャッシュレス決済の利用回数増加に向けた検討。また、コミュニティバスのキャッシュレス決済機におけるスムーズな決済方法等を検討する
				(5)	公共交通に関する分かりやすい情報提供	【愛知県タクシー協会】 ・外国語に対応した対応配車アプリ「GO」のPRを行う ・外国語に対応した「東三河MaaSいこまい」及び「のってみりん+（プラス）」のPRを行う
		1-2-3	安全で円滑な交通環境の構築	(1)	駅・停留場などのバリアフリー化	【豊鉄バス株式会社】 ・全営業所の路線バス車両は、車椅子の乗降に対応済み（高速乗合バス車両を除く）。今後の導入車両においても継続してバリアフリー化を図る 【愛知県タクシー協会】 ・いつでも誰でも安心して乗車できる公共交通機関として、ユニバーサルデザインタクシーの導入を推進する
				(2)	渋滞緩和につながる幹線道路の整備	【愛知県】 ・（都）小松原街道線の用地買収を実施予定 【豊橋市】 ・（都）一色高洲線の2期区間について、物件調査を昨年度に続き実施 ・（都）東松山大岩線について、概略設計を実施予定
				(3)	公共交通優先システムの導入（信号制御など）	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・豊橋技術科学大学が実施する東田電停における路面電車と交通信号の連携施策に関する研究について協力を行う 【豊鉄バス株式会社】 ・慢性する渋滞箇所の洗い出しを検討 【愛知県タクシー協会】 ・公共交通の通行帯専用レーン、豊橋駅の入構専用レーンの検討
				(4)	生活道路の安全対策	【国土交通省】 ・ゾーン30プラスの登録に向け検討を進めるエリアについて、ETC2.0プローブデータを用いた分析等、必要な技術支援を行う 【豊橋市】 ・豊橋市交通安全プログラム（改訂版）に基づき通学路点検を実施 ・市道石巻西川町・石巻中山町1号線歩道設置の用地買収を予定 ・令和8年9月1日からの道路交通法施行令の改正による生活道路の法定速度に引き下げに併せて、関係機関と連携して区画線などを用いた速度抑制対策や街頭啓発等を実施する 【豊橋警察署】 ・道路交通法施行令の改正に合わせた広報を実施するとともに、道路管理者と連携して生活道路の安全対策を推進する
				(5)	自転車ネットワークの整備推進	【国土交通省、愛知県】 ・豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図る 【愛知県】 ・（主）豊橋渥美線（富本町地内）の自転車通行空間（L＝約0.2km）の工事を完了予定 ・（一）東赤沢植田線の自転車通行空間の設計を実施予定 【豊橋市】 ・整備中のスマートインターチェンジ周辺の自転車ネットワークを活用したまちづくりの検討を行う

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2026-2035事業一覧 (3 / 5)

基本方針	目標	施策番号	施策	枝番	施策に紐づく事業	令和8年度取組予定
まちの魅力・にぎわいを創出する交通づくり	まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークを形成する	2-1-1	まちづくり施策との連携	(1)	居住誘導施策との連携	【豊橋市】 ・歩いて暮らせるまち区域定住促進事業費補助金事業を実施する。 【愛知県タクシー協会】 ・タクシー利用者の多い「歩いて暮らせるまち区域」における、需要や要望に合わせたタクシー活用の検討を行う
				(2)	ウォーカブルなまちなかづくりとの連携	【豊橋市】 ・みどりのワークショップを開催し、滞留空間設置の検討を行う
				(3)	公共施設等へ行きやすい環境の整備	【愛知県タクシー協会】 ・まちなか図書館や美術館博物館を中心とした、駅前のタクシー乗場の確保検討を行う ・市民病院(交通結節点)や医療センター等(交通結節点外)のタクシー乗場のある施設の有効活用で、タクシー利便性の向上を検討を行う ・まちなかへ訪れる際、公共交通利用者に対し、デジタルタクシーチケット発行を行政と検討を行う
				(4)	豊橋駅西口駅前広場の再整備	【愛知県タクシー協会】 ・高齢者、障がい者にも使いやすい乗降場所の確保に向けた調整 ・一般車両と公共交通車両との導線を分けることによる西駅での渋滞緩和や公共交通利用者の利便性向上を検討を行う 【豊橋市】 ・豊橋駅西口駅前広場の再整備可能性調査を実施
				(5)	多目的屋内施設の開業に伴う交通環境の向上	【愛知県タクシー協会】 ・高齢者、障がい者に対応したタクシー乗降場の位置、運用方法について確認を行う ・タクシーの活用方法について検討する ・路面電車停留場まで距離がある箇所や、バス路線の設置が難しい箇所でのタクシープール設置によるハブ機能としての活用を検討する 【豊橋市、豊橋鉄道株式会社】 ・関係部局等と渋滞対策の実施内容について協議する 【豊橋警察署】 ・多目的屋内施設への移動経路等の交通環境の向上について、意見や助言を行う
	まちなかや地域拠点に行きやすい交通環境を実現する	2-1-2	公共交通ネットワークの形成	(1)	路線バスの維持	【豊鉄バス株式会社】 ・地域住民の要望・意見を踏まえた利用しやすいダイヤ改正を検討する 【豊橋市、東三河の関係自治体】 ・路線バス運行対策補助金により、路線バス事業者へ支援を行う
				(2)	コミュニティバスの維持・確保	【コミュニティバス等地域運営団体】 ・既存路線の運行継続及び見直し ・柿の里バスの一部運行方法の変更
				(3)	公共交通ネットワークの再編	【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・豊橋技術科学大学が行う交通系ICカードの乗降データ等の現況分析に協力する
		2-2-1	多様なアクセス性の向上	(1)	シェアモビリティのサービスとの連携	【豊橋鉄道株式会社】 ・沿線各所のシェアサイクル事業との連携の継続 【豊鉄バス株式会社】 ・C&R駐輪場の現地視察等を踏まえた整備検討を行う
				(2)	公共交通の自転車持込みサービスの充実	【豊橋鉄道株式会社】 ・サイクルトレインの継続 【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 ・サイクルバスの導入可能性の検討(現状、豊橋駅バスセンターのロータリーが狭い、運行ルートの狭路区間があるなど、安全確保に課題がある)

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2026-2035事業一覧 (4 / 5)

基本方針	目標	施策番号	施策	枝番	施策に紐づく事業	令和8年度取組予定
まちの魅力・にぎわいを創出する交通づくり	まちなかや地域拠点に行きやすい交通環境を実現する	2-2-2	交通環境の魅力向上	(1)	路面電車・渥美線の魅力向上	【豊橋市、豊橋鉄道株式会社】 ・軌道緑化の維持管理を継続
				(2)	公共交通の付加価値の向上	【豊橋鉄道株式会社】 ・「納涼ビール電車」運行 6～9月、「おでんしゃ」運行 4・5月、11月～3月、リバイバル企画電車等の運行 【愛知県タクシー協会】 ・車内Free Wi-Fiの設置による利便性の向上(一部事業者)／検討中 ・豊橋市及びコンベンション協会との連携・協力を努める(1企業や協会での実現は不可能) ・観光整備の動向を確認しながらサービス・機器導入を検討
				(3)	子育て世帯が利用したくなる環境整備	【愛知県タクシー協会】 ・そいタクの活用、子育てタクシーをPRし、妊産婦の移動+生活をサポートする(一部事業者) ・豊橋タクシー協会、保育課、ソーラエナジー株式会社と病児保育送迎サービス実証実験を検討中 【豊橋市、豊橋鉄道株式会社】 ・子育て世代の利用促進施策「とよはし子育て応援電車・バス」、「絵本の駅」が全国の先進事例として国土交通省から紹介される予定。子育て応援バス・電車の継続、絵本の駅の継続、新規・拡充事業についても、SNS等を活用し、積極的な情報発信に努める 【豊橋鉄道株式会社】 ・子育て応援企画「市内電車こども無料の日」、沿線各小学校への出張出前講座の実施
みんなで支え育む持続可能な交通づくり	行政、市民、事業者及び交通事業者の相互協力により自家用車に頼らない意識の転換を図り公共交通を維持する	3-1-1	市民の公共交通利用意識の醸成	(1)	「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」の周知	【豊橋鉄道株式会社】 ・渥美線・市内線ガイドブックリニューアルを検討 【豊鉄バス株式会社】 ・各種イベントや小学校へ出前講座等にて周知 【豊鉄鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 ・電車・バス沿線周遊マップの新規エリアの作成 【豊橋市】 ・各種イベントの開催
				(2)	多様な交通をかしこく使い分ける意識の醸成	【愛知県タクシー協会】 ・豊橋市高齢者運転免許証自主返納支援事業への協力 ・運転免許証返納割引(70歳以上で運転免許証を返納した者について 1割引)の継続 【豊橋警察署】 ・高齢者等に対する運転免許証の自主返納事業を推進し、公共交通の利用を促進する
		3-1-2	官民連携による公共交通への支援	(1)	運転士確保に向けた取組	【豊橋市、愛知県タクシー協会、豊鉄バス株式会社】 ・「運転士確保支援事業」を実施 【豊鉄バス株式会社】 ・豊橋市と連携した運転体験会に参画の際、告知を強化し参加者の増加に努める。・豊鉄グループにて会社説明会3か月ごとに開催。 ・沿線行政との連携強化(退職者の再就職、若年層への訴求等)。学校関係との連携強化。外国人採用の強化。従業員の処遇改善。家賃補助等による移住促進。 【愛知県タクシー協会】 ・国土交通省が創設した、「働きやすい職場認証制度」で、二つ星、三つ星を取得(各事業者毎に対応) ・国土交通省が創設した、「女性ドライバー応援企業」の活用とPR ・運賃改定、賃金体系の変更(一部事業者)の労働環境の改善をPRして運転士確保を目指す
				(2)	新たな財源確保に向けた取組	【豊橋市】 ・コミュニティバスのネーミングライツパートナーを募集 【愛知県タクシー協会】 ・後席タブレット広告の収益化を検討する(一部事業者)
				(3)	交通事業者による個別事業への支援	【愛知県タクシー協会】 ・そいタク、子育てタクシーの活用法や新サービスの検討を行う
				(4)	路面電車の持続性の確保	【豊橋市、豊橋鉄道株式会社】 ・行政と交通事業者の定期的な意見交換を継続 【豊橋鉄道株式会社】 ・路面電車の運行サービスの持続性を維持するため、「持続可能な路面電車検討会」を設立し、手法や制度などの調査・研究検討を開始する

(報告第3号)豊橋市都市交通計画2026-2035事業一覧 (5 / 5)

基本方針	目標	施策番号	施策	枝番	施策に紐づく事業	令和8年度取組予定
みんなで 支え育む 持続可能な交通づくり	行政、市民、事業者及び交通事業者の相互協力により自家用車に頼らない意識の転換を図り公共交通を維持する	3-1-3	地域住民等との連携による移動手段の維持・確保	(1)	地域住民等と連携した移動手段の運営	【愛知県タクシー協会】 ・今までと同様に乗合事業への協力を行う(一部事業者) ・時代に合わせたニーズとサービス(デマンド型乗合事業等)を行政と一緒に検討する
				(2)	共創による交通体系の構築	【愛知県タクシー協会】 ・ボランティアタクシーは事業として継続が難しい部分があるため、慎重に検討したい ・公共ライドシェアの必要があれば協力していきたい
				(3)	災害に強い連携体制の構築	【豊鉄バス株式会社】 ・緊急連絡体制の再確認 【愛知県タクシー協会】 ・災害時に各社で情報共有を行う 【豊橋市】 ・道路の浸水状況が分かる浸水センサ表示システムの周知
	交通安全、環境負荷軽減、健康増進等に寄与する交通行動を促し持続可能な交通環境を実現する	3-2-1	交通安全や健康に配慮したライフスタイルの推進	(1)	交通安全教育の取組	【豊橋市】 ・小中学校や高校、老人クラブ等、幅広い世代に対して交通安全教育を継続 ・令和8年4月1日より開始された自転車交通反則通告(青切符)制度について、交通安全教室の中でも周知する 【豊橋警察署】 ・学校、自治会、事業者等に対し、交通事故の怖さを知ってもらえるような、きめ細かな安全教育を実施する
				(2)	公共交通を活用した外出促進	【愛知県タクシー協会】 ・各種イベントに交通事業者として参加し、公共交通の安全性と利用機会の創出、新たな利用方法(そいたく、子育てタクシー)やサービスなど提案・PRする 【豊橋市、交通事業者】 ・高齢者移動支援事業…市民税非課税世帯の70歳以上の方を対象に、日常生活の支援として公共交通機関の利用料金の助成を行う。 ◎令和8年度助成内容 ①タクシー料金助成券5,000円分、②電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分、③元気パス購入助成5,000円分 ・障害者社会参加促進事業…障害者の社会参加を促進するため、障害者に対し、公共交通機関の利用料金の助成する ◎令和8年度助成内容 ①5,000円分のタクシー券、②電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分、③元気パス購入助成券(65歳以上のみ選択可能)のいずれかを本人の希望により選択)を助成する。重度の障害者には、別途15,000円分の障害者タクシー料金助成券及び介護券2,400円分を助成する。 ・高齢者運転免許自主返納支援事業…運転免許証を自主返納した方を対象とした交通助成券を助成する ◎令和8年度助成内容 ①タクシー料金助成券5,000円分、②電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分、③元気パス購入助成5,000円分 ・ウォーキングイベント等を引き続き実施し、健康マイレージ及びアプリの周知を行う ・健康経営に取り組む事業者の健康マイレージ参加、民間企業との健康づくりの協定に基づいた周知等を継続して実施する ・高齢者公共交通移動支援事業として、交通系ICカードを活用した支援を行う
		3-2-2	脱炭素に向けた取組推進	(1)	交通GXの推進	【豊橋市】 ・次世代自動車の購入補助金は令和7年度をもって廃止したが、次世代自動車充電インフラ設備の設置費用や事業者向け省エネ設備等導入費用の補助を通して、省エネ化を促進する 【豊鉄バス株式会社】 ・EV車両について、国や自治体の補助金やインフラ整備が必要 【愛知県タクシー協会】 ・現在導入しているEV車両の更新や新規導入を検討中(一部事業者)
				(2)	エコ通勤の推進	【豊橋市】 ・健康マガジンによる周知を継続して実施 ・職員向けにはT-EMSマニュアルにおいて、エコ通勤を推進する

「豊橋市都市交通計画2026-2035」における評価指標及び確認指標の一覧

指標名		評価年	R6 基準値	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17 目標値
計画全体の 評価指標	公共交通・徒歩・自転車の分担率（％）		10年に1度	31.0	－									34
	地域公共交通の1日当たりの利用者数（千人/日平均）		毎年	44	集計中									44
評価指標 A	確認 指標	A-1 公共交通幹線軸の平日1日当たりの運行本数（本）	毎年	923	920									－
		A-2 公共交通幹線軸の休日※1日当たりの運行本数（本）	毎年	851	779									－
		A-3 市民1人当たりの公共交通への公的資金投入額（円/人）	毎年	746	集計中									－
評価指標 B	公共交通による人口カバー率（％）		5年に1度	85.6	－									90
	確認 指標	B-1 公共交通の満足度（％）	毎年	42.2	46.0									－
		B-2 公共交通の収支率（％）	毎年	90.1	集計中									－
評価指標 C	歩いて暮らせるまち区域内の人口（人）		毎年	162,977	集計中									165,200
	確認 指標	C-1 総人口と歩いて暮らせるまち区域の人口割合（％）	毎年	44.7	集計中									－
		C-2 公共施設の年間利用者数（人）	毎年	1,608,042	集計中									－
評価指標 D	まちなかへ出かける際の公共交通・自転車・徒歩の選択率（％）		5年に1度	53.6	－									58
	確認 指標	D-1 市街化区域内の歩行者の割合（％）	毎年	6.9	6.4									－
		D-2 市街化区域内の自転車利用者の割合（％）	毎年	4.1	3.8									－
評価指標 E	公共交通を支え育もうと思う人の割合（％）		5年に1度	51.3	－									60
	確認 指標	E-1 豊橋市の公共交通をともに支え育む条例の認知度（％）	5年に1度	13.6	－									－
		E-2 「地域生活」バス・タクシーの運行本数（本）	毎年	52	52									－
		E-3 公共交通の運転士数（人）	毎年	198	207									－
評価指標 F	市内交通事故における人身事故件数（件）		毎年	1,143	1,005									800
	確認 指標	F-1 自転車に関わる交通事故件数（件）	毎年	230	202									－
		F-2 歩行者に関わる交通事故件数（件）	毎年	99	90									－
		F-3 現在の自分自身が健康と感じている割合（％）	5年に1度	68.0	－									－
		F-4 温室効果ガス排出量(運輸部門)（千t）	5年に1度	620	－									－

※休日とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和二十三年法律第七十八号)に規定する休日を指す。

報告第4号 地域運営団体の取組の報告について

東山バス運営協議会の取組について

東山バス運営協議会

1 令和7年度の取組及び実施結果について

(1) 支援会員の募集 (1,000 円/1 口)
55 名 65 口

(2) 総会等の開催
開催回数 13 回 (うち、総会 1 回、定例協議会 12 回)

(3) 事業計画の変更
なし

(4) イベントの実施
【なつやすみ自由研究ツアー】
・やまびこ号乗車体験、視聴覚教育センターでの自由研究体験 (エコー糸電話工作)、プラネタリウム鑑賞を実施。実施日: 8 月 1 日、5 日～7 日、19 日、20 日。参加者 17 名。

(5) 停留所周辺の利用環境整備
・停留所のヘッドパネルの修繕 (1 基)
・停留所付近の草取り (1 箇所)

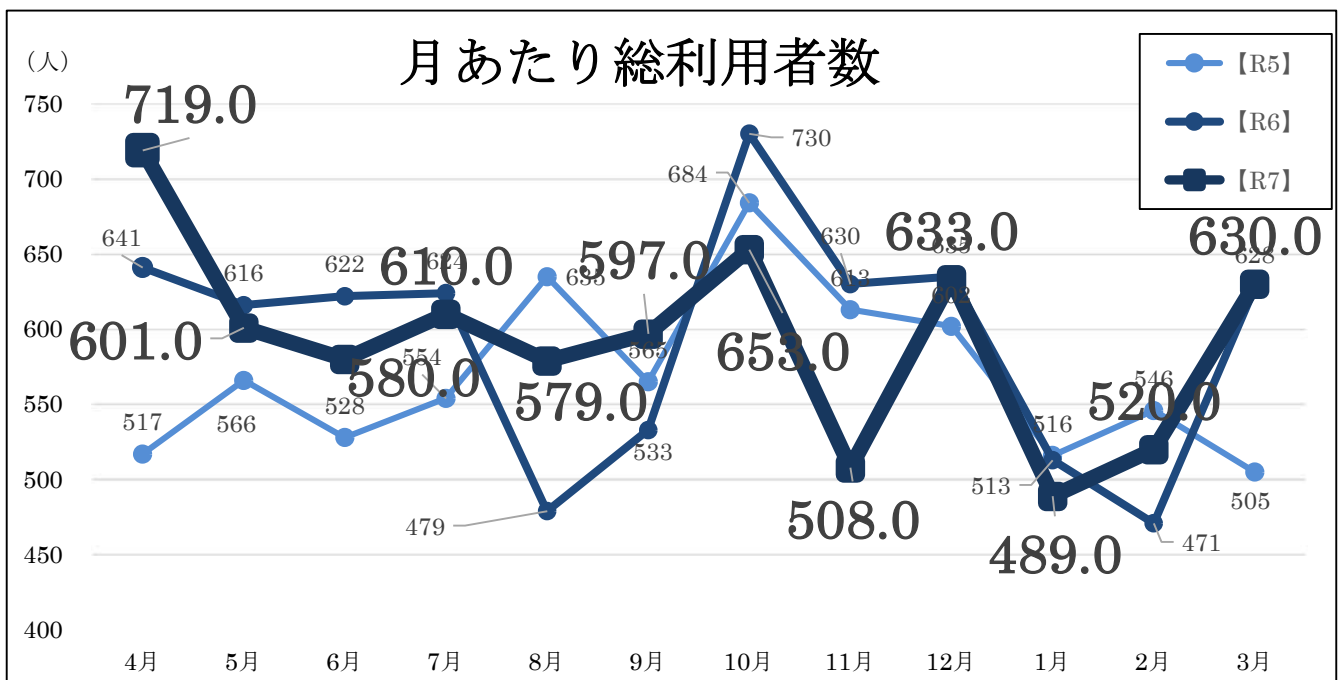
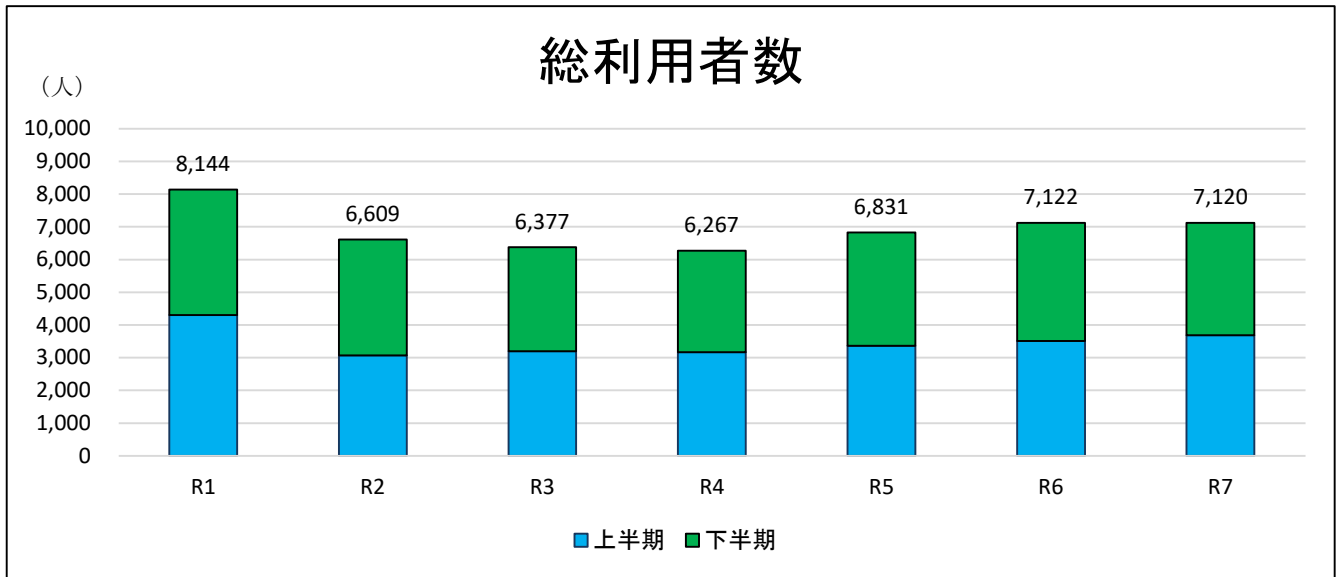
(6) 印刷物の作成及び広報活動
・やまびこ通信の発行 (35 号・36 号を発行、東山地域へ各戸配布)
・バス停に設置した情報 BOX でパンフレット等を配布
・利用促進ポスターを町内掲示板 10 か所に掲示

(7) ネーミングライツ事業
・令和7年8月に豊橋信用金庫とネーミングライツ契約を締結。同年10月より
＼みんなにエール！／とよしんバス 東部東山線やまびこ号として運行



2 利用者数の推移

令和7年度の利用者数は、前々年度比約104.2%、前年度比約99.9%とほぼ同水準となっている。今後も利用促進イベントの実施やパンフレットの配布等で更なる周知を行い、利用者数を維持する。



3 令和8年度の取組について

- (1) 利用促進イベントの実施
- (2) 停留所周辺の利用環境整備
- (3) 印刷物の作成及び広報活動
 - ・やまびこ通信の発行（年2回程度、東山地域へ各戸配布を予定）
 - ・パンフレットの配布（東山地域のみではなく路線沿線校区にも配布を予定）
- (4) 収入確保策の実施
 - ・車両広告の募集
 - ・支援会員の募集（1,000円／1口）

石巻・下条地域交通推進委員会の取組について

石巻・下条地域交通推進委員会

1 令和7年度の取組及び実施結果について

(1) 推進委員会等の開催

開催回数 11 回（うち、総会 1 回、推進会議 3 回、役員会 4 回）

(2) 運行ダイヤ・運行方法等の検討、実施

- ・運行ダイヤの改善（令和7年12月実施）
- ・一部区域運行（予約制）の導入の検討（令和8年5月実施）
- ・柿の里パスポート料金の変更の検討（令和8年5月実施）

(3) 地元の特産品を活用したバスツアーの実施

	イベント名	実施日	参加者数
①	ミニトマト食べ放題とピザ 手作り体験ツアー	5月19日、21日、23日	18名
②	シャインマスカットの収穫 体験と五平餅手作りツアー	7月22日～25日 7月28日～31日	48名
③	ブルーベリー食べ放題とク ッキー手作り体験ツアー	8月5日～8日	24名
④	買い物体験とフルーツ大福 作り体験ツアー	8月27日、28日	12名
⑤	栗の収穫&モンブラン作り 体験ツアー	9月16日、18日、22日、24 日	24名
⑥	手打ち蕎麦&栗きんとん作 り体験ツアー	10月14日～17日	24名
⑦	柿狩りと注連縄（しめなわ） 作りツアー	11月10日～12日	8名
⑧	買い物体験とショートケー キ作りツアー	12月24日～26日	24名
⑨	いちご食べ放題といちご大 福の手作り体験ツアー	2月2日～6日	30名
⑩	ミニトマト食べ放題とピザ 手作り体験ツアー	2月25日～27日	16名
⑪	いちご食べ放題といちご大 福の手作り体験ツアー	3月23日～27日	30名

(4) 夏休み小中学生等無料キャンペーンの実施

【概要】夏休み小学生 50 円バスの期間中に、対象者の運賃を石巻・下条地域交通推進委員会で負担し、無料とするキャンペーンを実施。

【実施期間】令和7年7月19日（土）～8月31日（日）

【対象】小中学生。また小中学生1人に対し同伴者1名。

【実績】（R7）小中学生74名、同伴者58名
（R6）小中学生12名、同伴者10名

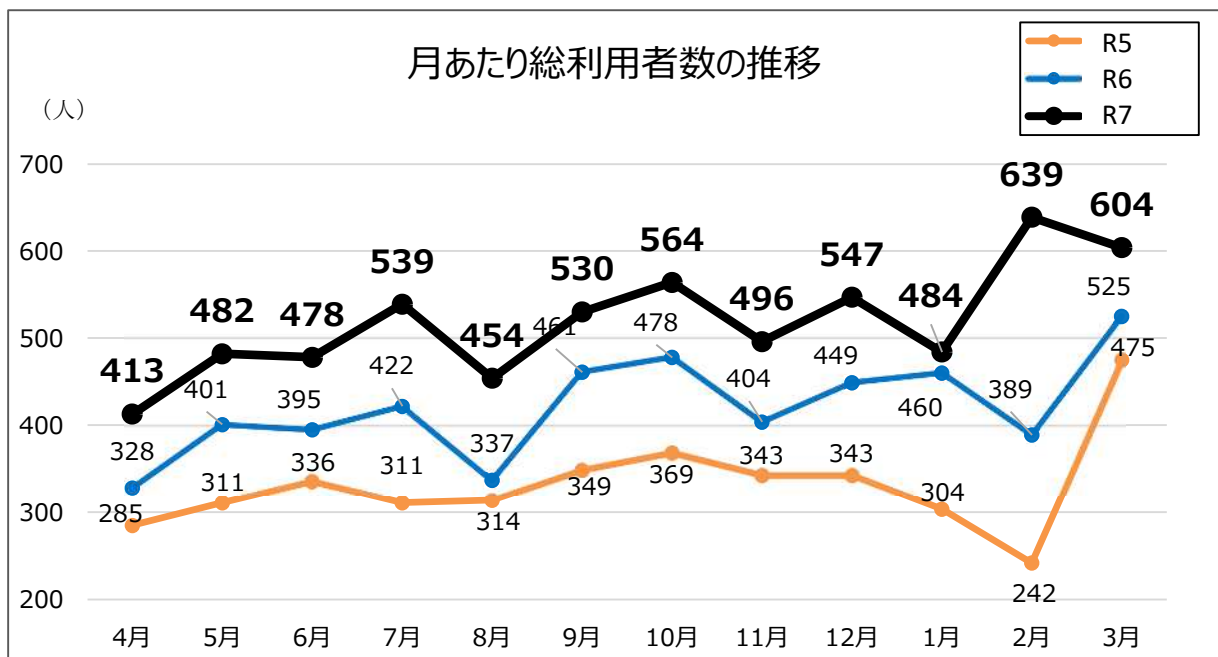
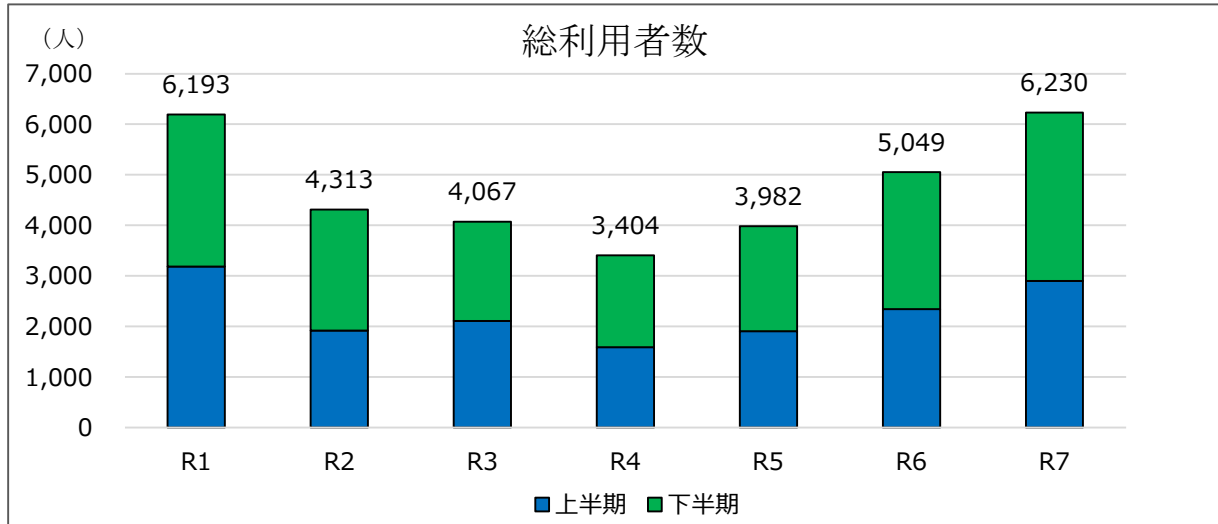
(5)「柿の里バスニュース」の発行

石巻・嵩山・西郷・玉川・賀茂・下条・鷹丘の各校区にキャンペーンの情報や運行ダイヤ等を記載した、「柿の里バスニュース」を回覧

【実施期間】令和7年4月～令和8年3月で12回 通算158号まで発行

2 利用者数の推移

令和7年度の利用者数は、前々年度比約156.5%、前年度比約123.4%と増加傾向となっている。今後も利用促進イベントの実施やバスニュースの配布等で更なる周知を行い、利用者の定着や新規利用者の開拓を図る。



3 令和8年度の実施について

(1) 利用促進イベント・キャンペーンの実施

新規利用者を獲得するため、地元の特産品を活用したバスツアーなどの利用促進イベントやキャンペーンを積極的に実施する。

(2) 柿の里バスニュースの継続的な発行

利用促進イベントの告知等の柿の里バスに関する情報を掲載した柿の里バスニュースの作成・配布を通じて更なる利用促進を図る。

(3) 収入確保策の実施

新規車両広告やネーミングライツパートナーを獲得し、自主財源の確保につなげる。

表浜地域公共交通推進委員会の取組について

表浜地域公共交通推進委員会

1 令和7年度の取組及び実施結果について

(1) 運行内容変更のための協議

なし

(2) 利用促進の取組

①推進委員会委員への情報周知（4月、5月）

推進委員会全委員へ各校区別の利用状況の推移・特徴等を周知し、更に地域住民へ利用促進の広報活動を依頼した。

②役員会議の開催（11月、2月）

現行の利用状況報告と運行内容に対する要望等について意見交換を行った。

③民生委員・関係団体等との連携（2月）

実際に利用される可能性が高い方へ周知を図るため、民生委員会、老人クラブ役員会へ参加し、情報提供、意見交換を行った。

④愛のりくん通信の発行（12月、3月）

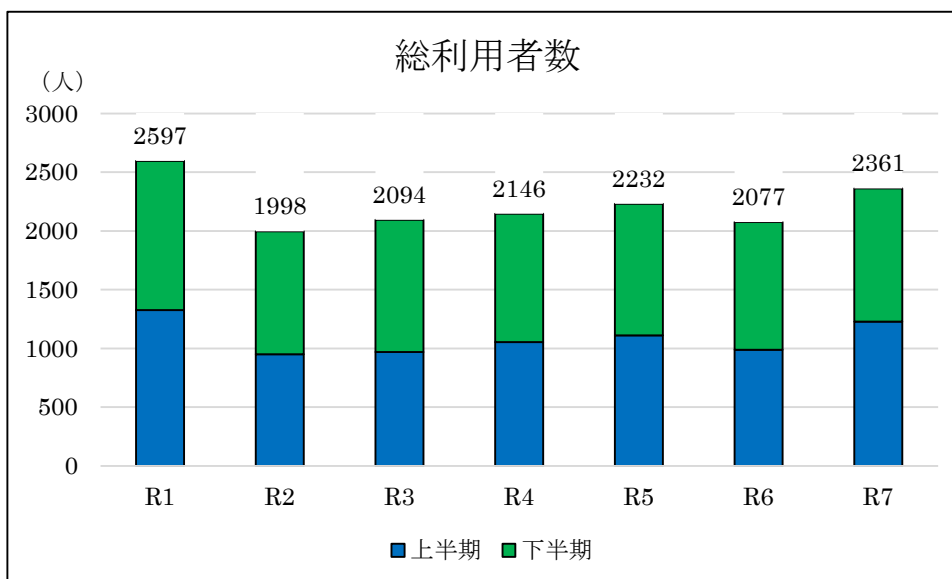
各校区別の利用者数の推移や愛のりくんの利用方法などを記載し、各戸配布した。

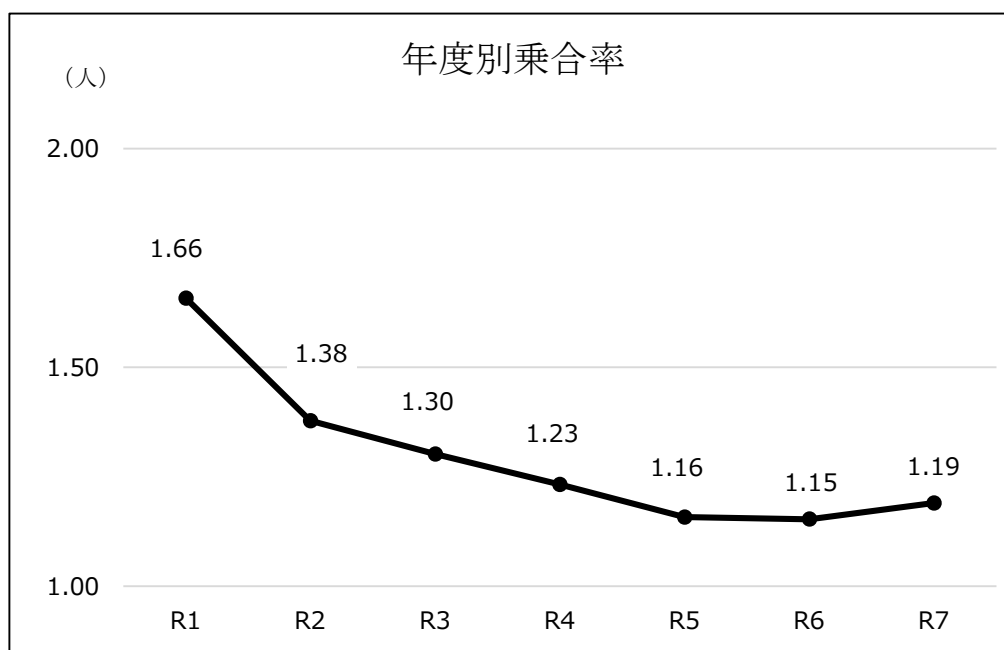
(3) のりば設備の維持・管理

①のりばの劣化状況を再点検した。（4月）

2 利用者数の推移

令和7年度の利用者数は、前々年度比105.7%、前年度比約113.5%となった。令和8年度は乗合率の向上に向けて地道な周知活動を行っていく。





4 令和8年度の取組について

(1) 利用促進施策の推進

- ①民生委員会、老人クラブ役員会へ参加し、意見交換を実施する。
- ②彩幸包括支援センター主催の講座に参加し、利用状況報告と要望を収集する。
- ③町自治会役員会議、その他団体会議へ参加し、PR と情報収集に努める。

(2) のりば設備の維持・管理

のりばの時刻表の剥がれ・劣化状況を定期的に点検・修繕し、運行環境を整備する。

(3) 「愛のりくん通信」の発行

利用状況、利用者の声等を掲載し、年間2回程度各戸配布する。

(4) 利便性向上のための要望事項の検討

- ①地域の要望は地域の運営委員会にて、適切な検討を行う。
- ②需要の見込めるのりばの増設・移設等を検討する。

しおかぜバス運営協議会の取組について

しおかぜバス運営協議会

1 令和 7 年度の取組及び実施結果について

(1) 運営協議会の開催状況

開催回数 8 回（うち、総会 1 回、運営会議 6 回、役員会 1 回）

(2) 「しおかぜバスニュース No. 37-39」の発行

しおかぜバス利用促進に係る告知、利用者に向けた情報を掲載・回覧した。

【記事内容】

No.37 夏休みしおかぜバス子ども 50 円キャンペーンについて

No.38 豊橋まつり臨時運行のお知らせについて

No.39 10 万人達成キャンペーンについて

【回覧校区】前芝校区・津田校区（清須町、川崎町）に回覧

(3) 豊橋まつり開催日の臨時運行

しおかぜバス運休日である豊橋まつり開催日に、沿線地域に居住する市民が豊橋まつりへ出かけるための移動手段を確保し、しおかぜバスの利用を促進することを目的に、第 3 便～12 便の臨時運行を実施した。またしおかぜバスニュースで利用啓発を行った。

【実施日】令和 7 年 10 月 18 日（土）、19 日（日）

【乗車人数】64 人

（参考／R1：85 人、R2, R3 は新型コロナウイルスの影響により豊橋まつりの開催が中止、R5：67 人、R6：69 人）

(4) しおかぜバス利用者数 11 万人達成キャンペーンの実施

達成日：令和 8 年 3 月 18 日（水）（前芝町在住の利用者）

景品内容：達成者（1 名）…地元名産品＋回数券

前後賞（4 名）…地元名産品

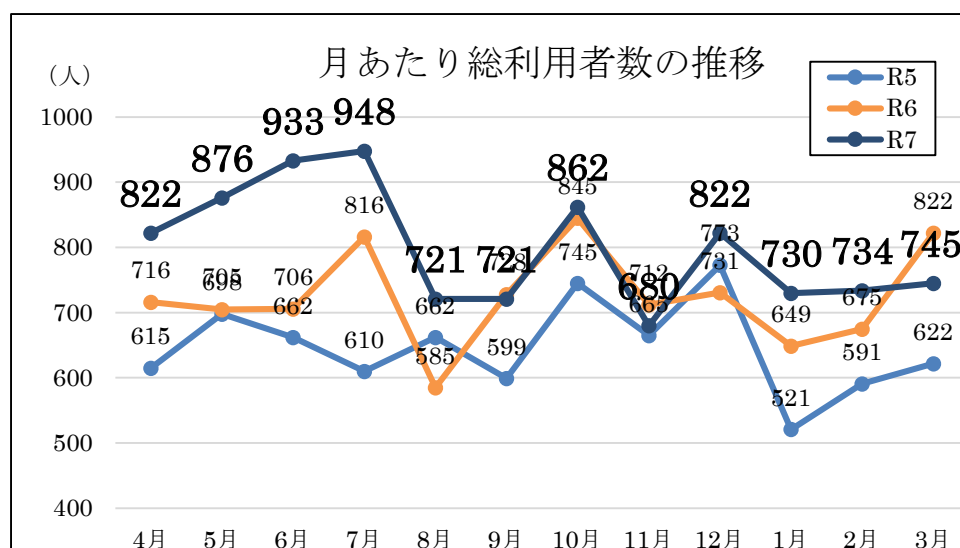
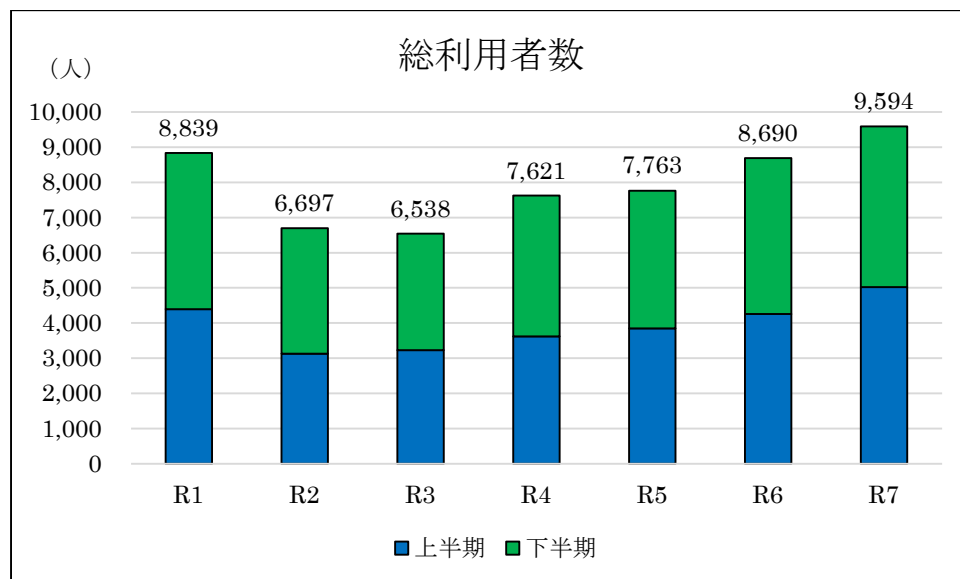
(5) しおかぜバス車両広告の募集

自主財源の確保、地元企業のイメージアップ及び地域経済の活性化を図るため、沿線企業に等に対し車両広告を募集した。

【賛同企業】6 社（継続）

2 利用者数の推移

令和7年度の利用者数は、前年度比約109.5%、前々年度比約119.9%と増加している。現行の運行体系を維持しながら、さらなる利用者獲得のため、しおかぜバスの利便性の周知活動や、利用促進策に取り組んでいく。



3 令和8年度の取組について

(1) しおかぜバスニュースの継続発行

お出かけのきっかけづくりのための沿線施設の紹介や利用促進イベントの告知等、しおかぜバスに関する情報を掲載したチラシを作成し、回覧または各戸配布する。

(2) 豊橋まつり臨時運行便の実施

(3) 感謝キャンペーン等利用促進イベントの実施

かわきたバス運営委員会の取組について

かわきたバス運営委員会

1 令和7年度の取組及び実施結果について

(1) 運営委員会の開催状況

開催回数 11 回（うち、総会 1 回、運営会議 10 回）。
月 1 回程度、開催した。

(2) 「スマイル号通信」の発行

下地・津田・大村校区に、利用促進イベント等の情報を掲載した「スマイル号通信」を回覧。
【実施期間】令和7年4月～令和8年3月に12回発行、通算119号まで発行

(3) 夏休み小学生 50 円バス実施に伴う小学生の乗車運賃無料キャンペーンの実施

小学生の運賃 50 円をかわきたバス運営委員会で負担し、無料とするキャンペーンを実施。
【実施期間】令和7年7月19日～8月31日
【実施結果】47 名 利用

(4) 回数券割引販売の実施

1,000 円の回数券を 200 円割引、2,000 円の回数券を 500 円割引で販売し、かわきたバス運営委員会がその分を負担することで、かわきたバスの利用促進及び新規利用者の発掘を図った。
【実施期間】令和7年6月3日～6月24日
※月途中で上限に達したため終了
【販売冊数】1,000 円回数券 7 冊、
2,000 円回数券 100 冊

(5) 「牛川の渡しツアー」の開催

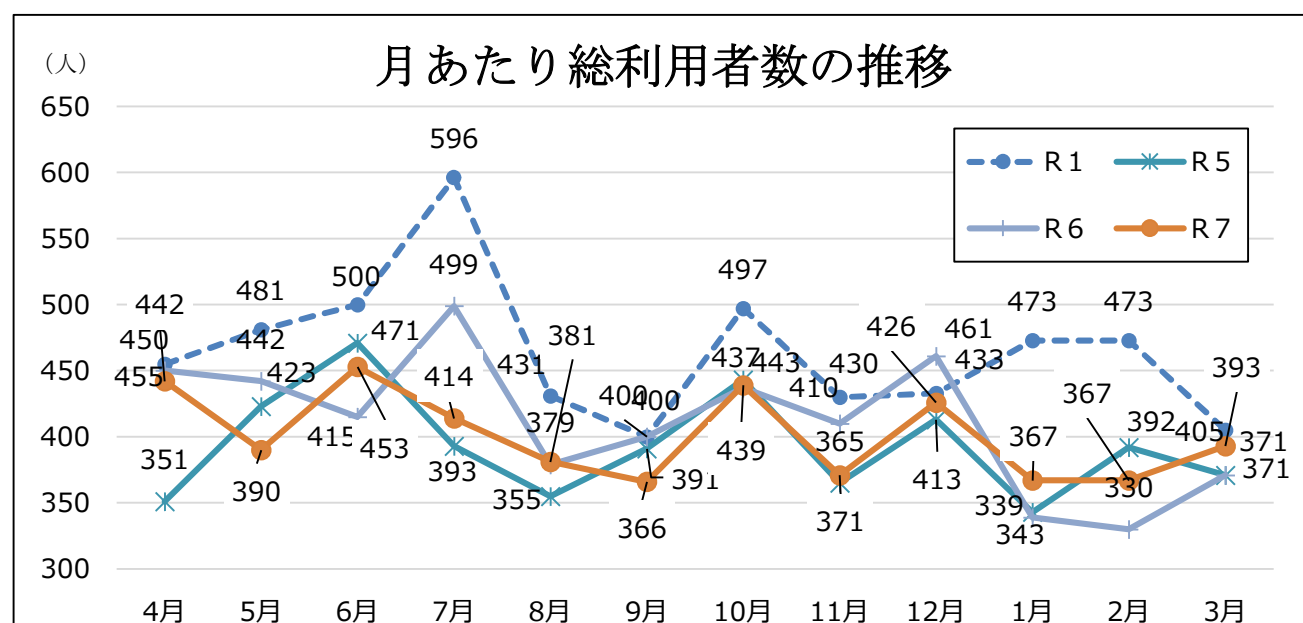
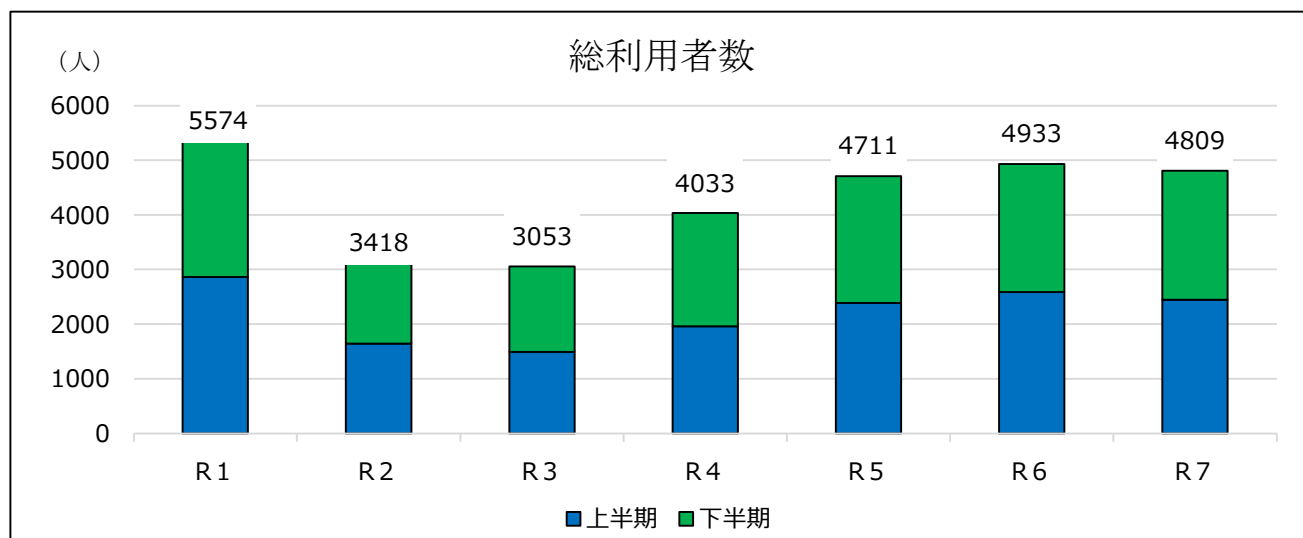
かわきたバスを利用して大村校区へ向かい、牛川の渡しに乗船したり、長光寺で「一期家一笑」のランチを食べたりしながら、地域の魅力を発見するツアーを開催した。
【開催日】令和7年7月22日、25日、29日、8月1日
【実施結果】4 日間で 10 世帯 23 名が参加

(6) 感謝キャンペーンの実施

かわきたバス利用者に、日頃の感謝として、豊橋市指定のゴミ袋とマスクのセットを配布した。
【実施期間】令和7年11月～
【配布数】 450 セット

2 利用者数の推移

令和7年度の利用者数は、前々年度比約102.0%、前年度比約97.4%と、同水準で推移している。新規利用者の開拓のため、引き続き周知活動や利用促進策に取り組む。



3 令和8年度の取組について

(1) 年間利用者数4,900人を目標として、前年度までの活動を継続して実施する。

- ①毎月1回の運営委員会を開催する。利用状況の確認や対策等について話し合う。
- ②スマイル号通信の月1回の発行により、スマイル号の魅力や利便性などを伝える。
- ③牛川の渡しツアーを実施するなど、利用促進イベントを実施する。

(2) 地域の活動と連携し、コミュニティバスとしての意義や地域活性化のために努力する。

スマイル号の継続と発展のために、3校区の自治会活動との連携を図る。